

名古屋市博物館  
年報

令和 6 年度

No. 48

名古屋市博物館



## はじめに

名古屋市博物館は中部地方を代表する歴史系の総合博物館として、尾張の歴史・文化に関する資料の収集保存、調査研究を行い、また、国内外の優れた文化財を紹介する展覧会を開催し、地域の歴史・文化を見つめ直す機会を提供しています。本書は、当館が令和6年度に実施した事業の概要を報告するものです。

資料の調査研究として、秀吉研究の推進では、『豊臣秀吉文書集』の続編となる、秀吉の弟の秀長、甥の秀次の文書を集成する「一族編」の刊行を目指した作業に着手しました。また、近代の有松・鳴海絞りを中心に、本館が所蔵する日本の絞り染め160点を掲載した資料図版目録『絞り染めコレクション 有松・鳴海絞りと日本の絞り』を刊行しました。

資料の収集は、161件986点の資料を収集するとともに、懸案となっていた美術品等取得基金所管の動産全点を買い戻しました。博物館資料の修復・保存・活用などを目的とする「よみがえれ文化財」事業では、「源氏物語図屏風」の修復を行いました。

展示は、リニューアル改修に伴い令和5年10月より休館しているため開催していませんが、当館が企画し、令和4年に開催した「もしも猫展」の全国巡回を実施し、新潟市美術館、広島県立美術館の2会場で開催されました。

学校との連携活動は、学芸員が小中学校で出前授業を行う「出前歴史セミナー」を計29校で実施するとともに、小学校3年生の社会科の学習過程に合わせて、名古屋がうつりかわる様子を学習、体験する「なごやのうつりかわり事業」を実施し、計130校の小学校が利用しました。

教育普及活動は、歴史を楽しみながら学べるプログラムとして「組紐づくり」のワークショップ、体験キットの貸し出しを行うとともに、他の生涯学習施設と連携して、学芸員が講演等を行う「はくぶつかん講座」を計14回開催しました。

博物館の魅力向上に向けた取組みでは博物館耐震改修工事等を行うとともに、その他リニューアルに向けた各種工事に着手しました。また、リニューアルを契機に、子どもから大人までより多くの方々に博物館が愛され、来館していただけるようにとの思いを込め、新たに博物館のシンボルマークとロゴタイプを作成しました。

分館の名古屋市蓬左文庫では、「もののふの備え」など2本の特別展と5本の企画展を開催するとともに、講演会や蓬左文庫講座などを実施しました。

名古屋市秀吉清正記念館では、特別陳列「重要文化財 豊臣家文書」のほか、4本のパネル展示、特集展示1本を開催しました。

名古屋市博物館は、地域の歴史・文化を市民の皆様に紹介するという使命をもとに、リニューアル改修を通じて、時代の変化に即した博物館に生まれ変わり、より一層親しまれるよう取り組んでまいります。引き続き、皆様のご助力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月  
名古屋市博物館

# 目 次

## はじめに

## 事業概要

I 展 示	3			
1 常設展	2 特別展	3 その他		
II 教育・普及	5			
1 広報	2 学校連携活動	3 教育普及活動	4 出版物	
III 資 料	9			
1 調査	2 収集	3 特別利用	4 資料の貸出	5 収集資料目録
6 指定・認定文化財一覧 (館蔵資料)	7 指定・認定文化財一覧 (受託資料)			
8 名古屋市博物館収蔵品データベース				
IV 管理・運営	23			
1 博物館の魅力向上	2 みんなの博物館応援基金			

## 分 館

I 名古屋市蓬左文庫	24				
1 閲覧	2 展示	3 教育普及	4 調査研究	5 出版物	6 特別利用
7 複写	8 資料点数	9 資料の貸出	10 指定文化財一覧 (所蔵資料)		
II 名古屋市秀吉清正記念館	29				
1 展示	2 教育普及等	3 特別利用	4 資料の貸出	5 資料収集状況	
6 指定文化財一覧 (館蔵資料)					
機 構	31				
名古屋市博物館協議会開催状況	33				
予 算	33				
名古屋市博物館利用状況	34				
1 特別展	2 常設展	3 月別入場者数	4 ギャラリー・講堂利用日数		
5 年度別入場者数					
出版物案内	38				

# 事業概要

## I 展示

### 1 常設展

リニューアル改修に伴い、休館中のため、開催していない。

#### ア 名古屋市博物館センターMAROの活動

MARO は、名古屋市立大学と名古屋市博物館の連携による、地域の活性化を目指す名古屋市立大学の公認団体。平成 20 年(2008)以来、当館にて学生主導の活動を行っている。本年度は休館中につき、当館でのイベント開催は行わなかった。MARO はワークショップ開催のノウハウ継続を目的として、名古屋市立大学の学園祭(市大祭)においてイベントを出展(延べ参加者数 107 人)し、企画・準備等は当館も協力して行った。

### 2 特別展

リニューアル改修に伴い、休館中のため、開催していない。

### 3 その他

#### もしも猫展(新潟会場)

会期 4月 13 日～6月 2 日  
(開室日数 45 日)

会場 新潟市美術館

主催 新潟市美術館、テレビ新潟

観覧料 一般 1,400 円 高大生 1,000 円

中学生以下無料

観覧者数 11,042 人

展示図 猫の擬人化作品と、それらを描いた歌川国芳を主軸に据えながら、江戸時代の擬人化表現の面白さと国芳作品の魅力に着目。令和 4 年(2022)に名古屋市博物館において企画開催した展覧会を巡回した。

展示件数 136 点

印刷物 ポスターB1・B2 判、チラシA4 判、観覧券、

展覧会案内状、出品目録、展覧会図録

#### 関連事業

##### ・講演会(事前応募)

5月 19 日 14:00～15:30

「国芳、猫を描く」

講師 津田卓子(当館学芸課課長補佐) 80 人

##### ・学芸員によるギャラリートーク(当日受付)

4月 28 日 14:00～14:30

5月 26 日 14:00～14:30

講師 菅沼楓(新潟市美術館学芸員)

##### ・うちの猫、にゃんげん(人間)自慢!

#### もしも猫展(広島会場)

会期 12月 19 日～令和 7 年 2 月 9 日

(開室日数 45 日)

会場 広島県立美術館

主催 広島県立美術館、テレビ広島

観覧料 一般 1,500 円 高大生 1,000 円

小中生 700 円

観覧者数 17,416 人

展示件数 136 点

印刷物 ポスターB1・B2 判、チラシA4 判、観覧券、  
展覧会案内状、出品目録、展覧会図録

#### 関連事業

##### ・講演会(事前応募)

令和 7 年 1 月 11 日 13:30～15:00

「国芳、猫を描く」

講師 津田卓子(当館学芸課課長補佐) 101 人

##### ・学芸員によるギャラリートーク(当日受付)

12月 20 日 11:00～、18:00～

令和 7 年 1 月 17 日 11:00～、18:00～

令和 7 年 1 月 31 日 11:00～、18:00～

講師 角田新(広島県立美術館学芸員)

##### ・ワークショップ 江戸のペーパークラフトを作って

見よう（事前応募）

令和7年1月18日 13:30～15:00 16人

・展示室からインスタライブ

令和7年1月7日、14日、28日

## II 教育・普及

### 1 広報

行事に関するチラシの配布を幅広く行うとともに、当館の取り組み全般について、ウェブサイトやSNSを活用した直接的な情報発信を積極的に行なった。

ウェブサイトアクセス件数(Google アナリティクス 4)	826,823 件
Facebook 投稿数	10 件
X(旧 Twitter) 投稿数	91 件

### 2 学校連携活動

名古屋市内の小中学校および高校と連携しながら、学校における博物館の活用促進や学生の歴史学習意欲の向上を目的としている。例年のように各種の学校連携事業を実施したが、休館のため、参加学校数や児童数は減少した。

#### (1) 出前歴史セミナー

教育委員会と博物館、美術館、科学館等が行っている「その道の達人派遣事業 出前ミュージアム」の一環として実施している事業である。学芸員が小中学校に出向き、実物資料を用いて説明する出前授業で、休館中も実施した。

○「名古屋の古墳博士になろう」	3 校 (10 学級 266 人)
○「愛知のまつりとからくり人形」	7 校 (19 学級 577 人)
○「合戦における火縄銃」	10 校 (23 学級 626 人)
○「東大寺に行くナラ」	9 校 (20 学級 517 人)
	計 29 校 (72 学級 1,986 人)

#### (2) 社会科学習連携事業

名古屋市立小中学校の社会科学研究会教員の協力を得て、デジタル教材「なごやのうつりかわり」制作にあたって考慮すべき点や館蔵資料の魅力

の伝え方、学習方法について意見を交わした。

また、中学生向け副教材についての意見交換を行なった。

#### (3) なごやのうつりかわり体験事業

本事業は、小学校 3 年生社会科の学習課程に合わせ、名古屋がうつりかわる様子を紹介する体験学習室を開室し、体験的に学習できるようにしている。本年度は休館中だが、美術館と連携して体験学習室を開室した。あわせて学芸員が小学校に出向き、実物資料を用いて説明する出前授業版「なごやのうつりかわり事業」を実施した。

##### ○美術館での実施

団体利用 平日 9 時 30 分～14 時 45 分

期 間 令和 7 年 1 月 15 日～3 月 7 日

計 29 日 6,848 人 (112 校)

一般利用 令和 7 年 1 月 18 日～3 月 23 日のうち土日祝日

計 23 日 4,639 人

##### ○出前での実施

期 間 令和 7 年 1 月 22 日～3 月 7 日

計 17 日 1,115 人 (18 校)

学校利用小計 130 校 8,416 人 (引率教員含む)

合 計 13,055 人

#### (4) デジタル教材「なごやのうつりかわり」

従来実施していた展示「なごやのうつりかわり」に代わるものとしてデジタル教材を制作し、公式サイト上にて公開した。

期 間 令和 7 年 1 月 6 日～公開中

#### (5) 職場体験・職場訪問の受け入れ

中学生・高校生の職場体験・職場訪問の受け入れを行なったが、学校側より休館を理由として申し込み後の辞退が続き、実績を残せなかった。

○職場体験：0 校 0 人

○職場訪問：0 校 0 人

#### (6) 博物館実習生の受け入れ

大学における博物館関係科目専攻者・学芸員資

格取得予定者の受け入れを行った。

期間 8月19日～23日 延5日間 6校6人

また、大学における博物館関係科目的授業の一環として行われる博物館見学を受け入れた。当館の概要説明、バックヤード見学などを行った。

1校 19人

## (7) 団体観覧

リニューアルに伴う休館につき実施なし。

## (8) 博学連携事業

○大学生とのアイディア会議（名古屋市立大学医薬看地域連携活動）

「どうしたら若者が博物館に訪れたいと思うか」をテーマに4回にわたって会議を開催し、具体策を検討した。

期間 6月～12月

参加学生数 9名

取組み内容 主に若者を対象としたアンケート調査を実施し、結果を分析のうえ、具体策を検討した。

アンケート結果

ア 回答数：625件

イ 主な内容

- 外出する際の行先決定は、「SNSインフルエンサーの投稿」、「通りがかったり、知人からオススメ」がそれぞれ約3割、「公式HPや広告などを見て」が約2割
- 博物館へのイメージは、「学びになる」が約6割、「小難しそう」が約3割
- 名古屋市博物館へ行ったことは「ある」が約3割
- 名古屋市博物館へ行ったことはない主な理由で最も多いのは「興味がない」で約5割

具体策

ア 施設面

- 前庭の活用
- 会話や自習が可能なラウンジスペースの設置
- 商店街との連携を強化

イ 企画面

・体験型の展示を強化

・没入型の展示を導入

ウ 広報面

・桜山駅周辺の広報を強化

・公式インスタグラムの開設

・拡散方法の強化

## 3 教育普及活動

体験型のイベントや講座、外部への学芸員派遣などを通じて、多様な教育の機会を提供するとともに、博物館に親しんでもらえるよう各種事業を実施した。

### (1) 歴史体験セミナー

一般を対象に、博物館に親しんでもらうために、歴史を楽しみながら学べる体験型プログラムとして実施した。

○組紐づくり

伝統工芸品である「組紐づくり」が自宅で体験できるキットを一般向けに貸し出した。初心者向けの「はじめての組紐」、完成した組紐で飾りを作る「組紐で飾り結びづくり」のプログラム2種を同梱する。事前申し込み制。

期間 7月1日～

貸出期間 2週間

貸出料金 1キットにつき500円（税込）

利用者数 83件121台

○はくぶつかんワークショップ「組紐づくり」

市内イオン店舗内で「組紐づくり」のワークショップを実施（当日受付、参加費無料）。あわせてリニューアルについてパネル掲示を行った。

9月18日（イオンモールNagoya Noritake Garden店）38人

10月4日（イオンタウン千種店）27人

10月26日（イオンモール名古屋茶屋店）65人

### (2) はくぶつかん講座

休館のため他の生涯学習施設において連携事業として実施した。

第1回	7月19日	鯉城学園 「公開講座 名古屋の歴史 文化から未来をつくる 名 古屋市博物館の現在地と將 来像」 230人 学芸課長 武藤真
第2回	8月9日	名古屋市科学館
～7回	～11日	「かがくの実験室 花火の 科学」 68人 学芸課長 武藤真
第8回	9月25日	瑞穂保健センター・瑞穂区 役所 「ウォーキング講座と史跡 紹介瑞穂区の史跡」 32人 学芸員 天野卓哉
第9回	9月28日	南図書館・南文化小劇場 「『台風記』を読む 災害を 伝えるために」 62人 前学芸課長(名古屋城調査研究センター副所長) 瀬川貴文
第10回	10月20日	名古屋市美術館 「有松・鳴海絞り 美をつく るわざと人」 35人 学芸員 佐野尚子
第11回	11月2日	中村図書館・中村文化小劇 場 「北政所のたからもの 豊 臣家文書」 64人 学芸員 岡村弘子
第12回	11月2日	中村図書館・中村文化小劇 場・秀吉清正記念館・中世 史研究会 「『豊臣秀吉文書集』完結記 念シンポジウム 秀吉の遺 産を未来につなぐ」 72人 学芸員 岡村弘子 中京大学名誉教授 播磨良紀氏 名古屋市立大学教授 川戸貴史氏
第13回	11月16日	瑞穂図書館「山水画の源流 と中国絵画（1）描かれ方 編」 42人 学芸員 島村桂子

第14回	11月23日	瑞穂図書館「山水画の源流 と中国絵画（2）漢文資料 編」 38人 学芸員 島村桂子 計 643 人
------	--------	--

### (3) 派遣依頼等対応

他の研究機関、自治体及び団体等で実施される講演会等について、依頼に基づき当館学芸員を派遣した。

- 9月22日 公益社団法人名古屋中法人会・名古屋市 「第16回名古屋ニコニコランド2024はくぶつかんワークショップ 土器のもようをしらべよう！」 176人
- 10月19日 大須商店街連盟・大須大道町人祭実行委員会「第45回大須大道町人祭」にて220年前のムカデ行列を復活させた。
- 11月2日 名古屋市博物館・中世史研究会・秀吉清正記念館・文化振興事業団(中村文化小劇場)・中村図書館『豊臣秀吉文書集』完結記念シンポジウム「秀吉の遺産を未来につなぐ」72人
- 11月12日、13日 名古屋市教育委員会キャリア教育推進センター「ミライトラベルDAY ミニ学芸員養成講座・考古学編～ナゾのカケラの正体をつきとめよう！～」 各日 80人  
計 4 件

## 4 出 版 物

- 「名古屋市博物館だより」(年2回発行)  
No.238 A4 変形判 6頁 2,000部(無料)  
津田卓子「リニューアルレポート 2」  
佐野尚子「能登半島地震と文化財レスキュー」  
深谷 淳「瑞穂遺跡から出土した青銅器鑄造  
関連遺物－東海地方 2例目となる  
弥生時代の送風管の発見－」
- No.239 A4 変形判 6頁 2,000部(無料)  
津田卓子「リニューアルレポート 3」  
伊藤旭人「金剛五鈷杵－森川コレクション－」  
天野卓哉「名古屋の子供獅子舞－鳥森三社秋

祭りー」

○「名古屋市博物館年報」No.47（令和5年度）

博物館公式ウェブサイトに掲載

○「名古屋市博物館研究紀要」第48巻

A4判 70頁 700部 700円（税込）

木村慎平 「名古屋城二之丸御殿の解体と「御城図面」」

横尾拓真 「中林竹洞の倣黄公望作品について—江戸時代後期の黄公望画受容の一相様ー」

星子桃子 「尾州家河内本源氏物語の書について—鎌倉基幹巻を中心にー」

小西恒典 「昭和戦前期の尾張豊國神社と中村公園」

深谷 淳 「名古屋市博物館所蔵の筒形石製品の検討」

○「年間行事予定」 A4判 25,000枚（無料）

○名古屋市博物館資料図版目録11

『絞り染めコレクション 有松・鳴海絞りと日本の絞り』

A4判 112頁 950部 1,100円（税込）

### III 資 料

#### 1 調 査

##### (1) 資料情報

本年度に市内外から寄せられた資料に関する情報は、下表のように計 61 件であった。

資料情報件数		件 数
地域別	市 内	40 件
	市 外	21 件
	不 明	0 件
計		61 件
分野別 (重複含)	考 古	4 件
	美術工芸	22 件
	文書典籍	14 件
	民 俗	22 件

##### (2) 調査研究

###### ア 秀吉研究の推進

この研究の目的は、全国に多数存在する豊臣秀吉の文書の情報を集積し、編年により翻刻掲載した『豊臣秀吉文書集』を刊行することにある。平成 25 年度に編集委員会を発足させ、平成 27 年（2015）1 月に第 1 卷を発刊後、令和 4 年度までで、編年分（1～7 卷）と補遺・年未詳文書（8 卷）の刊行を終えた。

本年度からは、秀吉弟の豊臣秀長、甥の豊臣秀次の文書を集成し、続編である「一族編」の刊行を目指した作業を開始している。本年度は計 4 回の編集会議を開催し、岐阜県博物館・金沢市玉川図書館近世史料館・東京大学史料編纂所などで資料調査を行った。

###### イ 資料図版目録の出版

名古屋市博物館所蔵の資料のうち、まとまりのあるものを資料図版目録として出版しており、本年度は 11 冊目となる『絞り染めコレクション 有松・鳴海絞りと日本の絞り』を刊行した。近代の有松・鳴海絞りを中心とする日本の絞り染めコレクション 160 点を掲載したものである。

今回の研究と図版目録の作成に当たっては、「名古屋市博物館所蔵近代絞り染め製品と有松鳴海地区における絞り関係資料のデータ構築と検証」として、公益財团法人大幸財团による「第 13 回人文・

社会科学系学術研究助成」を受けた。

#### 2 収 集

##### (1) 資料収集方針

考古・美術工芸・文書典籍・民俗の各分野において基本方針と目標を定め、資料の収集を行った。

###### ア 考古分野

###### 〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の考古に関する資料

日本考古学上基準となる資料

###### 〔目標〕

○名古屋を中心とする地域の個人コレクションの収集

○各時代・時期に当地域が属した「文化圏」内で出土したことが明らかな資料の収集

○出土地域に関わらず、以下の諸点において、当地域との関連が深いと認められる資料の収集

- ・資料自体が当地方の生産品であることが明らかな資料

- ・資料自体が当地方の属した「文化圏」の影響を受けている、あるいは当地方の属した「文化圏」に影響を及ぼしていることが明らかな資料

###### イ 美術工芸分野

###### 〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の美術工芸に関する資料

日本美術全体の流れの上で基準となる資料

###### 〔目標〕

○名古屋を中心とする地域の画家および俳人の書画の収集

○同上地域の武将の肖像画や合戦図などに関連する資料の収集

○同上地域の武器・武具の収集

○同上地域の寺社で保有する文化財の一括収集

○陶磁器・金工・七宝・漆工芸・染織については、年紀銘、作者銘を有するもの、時代様式を端的に備えるもの等、基準資料たりえるものの収集

○彫刻については、全国レベルでみての重要資料の収集

○著名なコレクションで散逸の恐れがある資料の収集

## ウ 文書典籍分野

### 〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の歴史に関する資料

日本史全体の流れの上で基準となる資料

### 〔目標〕

○尾張の町方・村方文書など、一括資料の収集（尾張以外の尾張藩領を含む）

○尾張関係の典籍の収集（尾張の出版物・尾張に関する人物の著作など）

○名古屋市街図・地籍図の収集（尾張以外の尾張藩領の図を含み、広域図の場合は優品で価値の高い資料）

○尾張に関する文書・記録、および尾張に関する人物の文書・記録などの収集

○尾張に所在した歴史的価値が高い資料の収集

○地域にこだわらず、古文書学上、基準的様式を具備する各時代の基本的文書の収集

○地域にこだわらず、書誌学上、重要な典籍類の収集（代表的な出版物・写本など）

○著名なコレクションで散逸の恐れがある資料の収集

## エ 民俗分野

### 〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の民俗に関する資料

日本民俗全体の上で基準となる資料

### 〔目標〕

○名古屋を中心とする地域の民俗芸能用具ならびに儀礼・信仰関係用具の収集

○民俗事象を表す写真・映像・音源などの収集

○地域的な特色を示す衣・食・住に関する資料の積極的な収集

○名古屋を中心とする地域の災害関係資料の収集

○商業に関する資料の体系的な収集

○機械化されていない諸職用具の収集（製品見本、製作工程見本の製作依頼を含む）

○農具・養蚕具・製紙用具・亜炭採掘用具・漁具については館蔵品の補完的収集

○絞りについては、海外のものも含む重点的な収集

○名古屋を中心とする地域の遊戯具・玩具・食玩の収集（製作依頼を含む）

○明治以降の産業資料のうち、時計、バイオリン

企業が製造した製造機械の収集

## （2）収集資料の概要

本年度は、受贈と調査発見により、161 件 986 点の資料を収集した。又、長年の懸案であった美術品等取得基金所管の動産全点を買い戻し（移管）した。これにより収集資料の累計は、25,850 件 291,344 点となった。前年に引き続き、改修工事前に資料を完全待避させるため、これまで博物館資料としていなかった参考品について、今後も必要と思われるものについては調査発見資料として受け入れ手続きを行った。

寄託資料は津島市西光寺所蔵の重要文化財地蔵菩薩立像像内納入品の寄託を所蔵寺院の移転に伴い解除した。かわって名古屋市泉増院より新たに市指定文化財となった玉照姫・藤原兼平中将画像を受託した。また改修工事に伴い、一時的に解除、返却している資料もある。

## ア 考古分野

考古分野では 26 件 126 点の資料を受贈した。

そのうち、断夫山古墳出土資料は、豊田市教育委員会にて文化財の保護に尽力した田端勉氏が同古墳の造出にて採集した資料である。同市学芸員の森泰通氏らが当該資料を分析し、断夫山古墳の築造年代が従来の想定より遡る可能性あることを指摘するなど、断夫山古墳の築造時期を考える上で、貴重な資料といえる。

このほか、東海地方でながらく考古学の調査に携わってきた紅村弘氏の旧蔵資料も受贈した。同氏の旧蔵資料は当館では平成 27・28 年度にもまとまと量を受贈しており、今回が第 3 次となる。内容は名古屋市内の遺跡出土（採集）資料に加え、現在の新城市に所在する加生沢（かしおざわ）遺跡と萩平遺跡、豊川市に所在する日吉遺跡の資料が含まれている。特に、加生沢遺跡出土資料はその所属時期について議論のある資料であり、東海地方の人類史を考える上で重要な位置づけにある。また、紅村氏著の『東海先史文化の諸段階』などの既往報告に関連する資料も多く含まれており、学史的にも重要な資料群と言える。

## イ 美術工芸分野

美術工芸分野では 61 件 69 点の資料を受贈した。

「内裏雛図」は、江戸時代後期に名古屋城下で活躍した張月樵による作品である。注文に合わせて数多く制作されたと思われる節句飾りの一例であるが、横長の大画面に丁寧な筆致で描かれており、文様や装飾品の描写密度も高い。男雛及び女雛の特徴的な面貌には、月樵の個性も窺い知れる佳品である。

「東海道狂歌道中画巻」また「不動明王立像」「達磨大師像」は、それぞれ大矢米年また花井青巖の作品である。いずれも近代以降に制作された作品であるが、両者の作例は今まで当館の所蔵に無く、近代の名古屋画壇を知るための具体例として受贈した。

「流水図孔雀図衝立」は、輪中地域の豪家を飾っていたもので、「孔雀図」の筆者は不明であるが、「流水図」は江戸時代後期に活躍した名古屋出身の文人画家・山本梅逸が手掛けている。水墨を中心とした簡素な描写であるが、水流を描き出す筆致は巧みで雄渾な風景表現が見て取れる好資料である。

また江戸時代後期の浮世絵師、歌川国芳とその門人らの浮世絵を44点受贈し、従来から収集している浮世絵コレクションの充実をはかった。うち月岡芳年が晩年に手がけた傑作「月百姿」シリーズは38点にのぼる。

工芸においては、美濃と尾張で活躍した江戸時代前期の刀工、康道の銘をもつ「刀 銘 大和守源康道」はじめ、3振の刀剣や近代の陶磁器を受贈した。

このほか、美術品等取得基金所管の動産から8件8点を買い戻した。

「小牧長久手合戦図屏風」は秀吉と家康・信長連合軍が戦った合戦を描く江戸時代中期制作の屏風で、本来は一双であったうちの右隻とみられる。「御床机岩」など家康ゆかりの史跡を描き入れる点が珍しく、類作のなかでも特色を持つ。

「寿老人と亀相撲」は尾張藩士で北斎門人として知られる牧墨僊による朱墨画で、文化10年の年紀が認められる。四条派の影響を受けた作風で、墨僊の作域の広さを伝える資料である。

葛飾北斎「ぎようとくしほはまよりのぶとのひかたをのぞむ」「おしをくりはとうつうせんのづ」は、葛飾北斎が文化年間に注力した洋風風景版画の一種で、牧墨僊家に伝來した。すでに購入が終了している牧墨僊収集版画127図とともに、江戸と名古屋の絵師の交流を伝える資料として貴重であり、とりわけ前者は退色しやすい虹の摺が残った稀品といえる。

歌川広重「有松絞 竹谷佐兵衛店先」と小田切春江「有松絞 丸谷丈助店先」は、どちらも有松絞りの店先風景を描いた版画。往事の有松絞り店の賑わいを伝える資料であるとともに、江戸と名古屋、それぞれの名所絵を比較する作例研究においても活用が見込まれる。

「大惣貸本店図」は、画家で郷土史家でもある山田秋衛が、名古屋の貸本屋大野屋惣八、通称「大惣」の店先を想像して描いた一幅。秋衛は小説家の坪内逍遙が幼年期に大惣を訪れていたエピソードを踏まえ、逍遙母子を店内に描き入れている。明治期の大惣を偲ぶ画像資料として活用できる。

「刀 銘 伯耆守藤原信高 寛文三年二月 吉日閑遊入道作」は、二代信高と三代信高の銘を持ち、類例が少ない合作である点で貴重な資料である。

## ウ 文書典籍分野

文書典籍分野では、45件 717点の資料を受贈した。

「春日井郡清須村日吉神社関係資料」は、豊臣秀吉の義母、朝日殿が崇敬したとされる日吉神社に関する資料である。小牧長久手合戦の際の徳川家康禁制、歴代尾張藩主の黒印状など、神社の由緒を伝える貴重な資料を含む。

「旧名城小学校関係資料」は、中区の旧名城小学校に保管されていた記録類である。前身にあたる各学校で作成された、明治から昭和前期にかけての学校日誌など、学校教育の歴史を物語る貴重な資料である。「楠小学校旧蔵資料」にも、戦前期の学校文書が含まれる。

「二村蘭秋関係資料」「井東敏夫・正夫旧蔵 伊藤観魚関係資料」は、いずれも昭和期の名古屋で活動した文化人に関する資料である。二村蘭秋は戦前から戦後にかけて活動した俳人で、交流のあった高浜虚子の短冊等を含む。伊藤観魚も同時期に名古屋で活動した書家・画家である。

「名古屋新聞」「官報雑誌」「名古屋絵入新聞」は、いずれも明治10年代に名古屋で発行された新聞であり、新発見の巻号を含む。

このほか、美術品等取得基金所管の動産から、13件13点を買い戻した。

「酒井林左衛門家資料」は、尾張藩士酒井家に伝わった武具甲冑とその付属品である。同家に伝わった文書類は、すでに「尾張藩士酒井家資料」として受贈している。

「豊臣秀吉自筆書状」は、秀吉から側室、おとらに宛てた書状である。病気を気づかい、行楽に誘う内容で、秀吉の私的な側面を伝える文書である。

「人足札」は、尾張藩が普請の際に土砂を運搬する人足に渡した木札である。人足はこれと引き換えに賃金を受け取った。藩による普請の実態を伝える資料である。

「尾張名古屋 埋木之図（尾張藩幅下水道図面）」は、名古屋城下西部に設けられた上水道、幅下水道の図面である。当館はすでに同様の図面2巻を所蔵しており、本資料はこれを補う内容である。

「尾張国中島郡中之庄村御検地帳」は、尾張藩における最初期の検地帳（慶長検地帳）である。慶長検地帳の原本は現存が少なく貴重である。

「尾張国枇杷島村川口家勤仕書上」は、江戸時代に、庄内川に架かる枇杷島橋の橋守を務めた川口家の勤務実績を記した文書である。庄内川における河川管理の実状を伝える貴重な資料である。

「余延年宛月僊書簡」は、江戸時代中期に活躍した名古屋生まれの画僧月僊が、知多郡大高村の余延年に送った書簡である。名古屋を離れた後の月僊と尾張の人々との交流を示す好資料である。

「高力猿猴庵著書」は、尾張藩士・高力猿猴庵（種信）が著した絵入本を、同じく尾張藩士の小田切春江が転写した本である。「安永洪水図」「当世破れ頭巾・夏日つれづれ」「知多万歳」も、同じく猿猴庵の著作である。いずれもこの地域の祭礼、風俗、世相等を綿密に記録した貴重な資料である。

「蓬瀛勝会」は、寛政7年（1795）に名古屋の七寺で開催された書画会の出品目録である。名古屋周辺の文人たちが出品している。

「松尾芭蕉発句懐紙」は、芭蕉が名古屋の書林、風月堂を訪れた際に吟じた発句の懐紙である。当地における芭蕉の足跡を示す貴重な資料である。

## エ 民俗分野

民俗分野では28件73点を受贈した。

主な寄贈資料としては、昭和5年（1930）の婚礼の際に松坂屋で製作したとされる重掛が挙げられ

る。嫁入りした女性は明治41年（1908）岐阜市生まれで、重掛は金糸や色糸で織り込まれた模様に刺繡を加えた豪華なものである。嫁入り道具披露の写真も残っており、昭和前期の女性のハレの服飾の様相がわかる資料といえる。また合わせて、瑪瑙や象牙などで百合や水仙、獅子を精緻に細工した帶留10点も受贈しており、昭和前期の女性の装身具を表わす資料として貴重である。

また若宮八幡社の所蔵資料として、産宮住吉社からくり人形関連資料11件30点を新規受託した。からくり人形の頭8点、全高50cmほどの小型の木偶1点、それらが収められていた祠1基などが含まれている。これらは住吉町（現・中区栄3丁目）が所有していた山車に載せられていたものと考えられる。同町が所有した山車の名称は、江戸時代に産宮参車（うぶみやまいりしゃ）、菊慈童車、河水車と変遷してきた。人形の頭の1点には天保4年（1833）の墨書銘があり、河水車に載せられた唐子人形のものと考えられる。他の頭・人形の名称や使用された時期は、今後の検討課題である。河水車は東区出来町に現存しており、その変遷のみならず、名古屋の山車からくり文化の諸相を示す貴重な資料である。

## （3）「よみがえれ文化財」事業

当館が所蔵する資料の中には、劣化などのため、そのままでは展示、活用できない資料がある。そうした資料を後世に伝え、活用していくための修復などを目的として基金をつくり、市民の寄附を募り、事業を行った。

### ○対象とする主な事業

- ・博物館資料（写真資料等）のデジタル化
- ・博物館資料（金属等）の保存処理
- ・博物館資料（絵画・文書等）の修復
- ・博物館資料（刀剣等）の研ぎ
- ・博物館資料の展示具の製作

上記のほか、資料の修復・保存・活用などを目的とする。

### ○令和6年度に実施した事業

「源氏物語図屏風」の修復

○令和6年度寄附実績

個人 8名 333,000円  
団体 2件 125,000円  
計 10件 458,000円

○寄附者（公開に同意の方のみ、受付順、敬称略）

福島佐千男、服部真紀、加藤景之、土居峻

【令和6年度名古屋市博物館資料収集状況】

	令和6.4.1～令和7.3.31						総合計（令和7.3.31現在）					
	受贈		購入		計		受贈		購入		計	
	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点
0 総集	-	-	-	-	-	-	58	126	156	206	214	332
1 考古	26*	126*	0	0	26	126	3,007	123,848	283	1,717	3,290	125,565
2 絵画												
3 彫刻	61*	69*	(8)	(8)	69	77	2,679	14,738	883	1,320	3,562	16,058
4 工芸												
5 文献	45*	717*	(13)	(13)	58	730	7,421	81,020	2,066	18,293	9,487	99,313
6 生活												
7 生産	28*	73*	0	0	28	73	8,997	48,731	270	1,216	9,267	49,947
8 民俗												
9 自然	1*	1*	0	0	1	1	30	129	-	-	30	129
計	161	986	21	21	182	1,007	22,192	268,592	3,658	22,752	25,850	291,344

\* 調査発見資料を含む。

\*\* ()は基金からの買い戻し(基金による購入資料は基金動産から市備品に移管したときに計上する。)

3 特別利用

	熟覧	模写	模造	拓本	原板使用			撮影			計
					(1)	(2)	小計	(1)	(2)	小計	
利用申請件数	23件	1件	1件	0件	88件	11件	99件	10件	0件	10件	134件
資料件点数	97件 763点	9件 41点	2件 2点	0件 0点	227件 239点	33件 35点	260件 274点	28件 28点	0件 0点	28件 28点	396件 1,108点

(1)出版物、テレビ放送などへの掲載(使用)目的

(2)調査研究目的

4 資料の貸出

貸出期間	貸出先(会場)	貸出目的(展覧会名・会期)	おもな貸出資料
4月1日～ 令和7年3月31日	見晴台考古資料館	常設展 4月1日～令和7年3月31日	銅鐸形土製品(複製) 1件1点
4月1日～ 令和7年3月31日	体感！しだみ古墳群 ミュージアム	常設展 4月1日～令和7年3月31日	白鳥第1号墳出土資料 はじめ7件14点

4月1日～ 令和7年3月31日	美濃加茂市民ミュージアム	常設展 4月1日～令和7年3月31日	二ツ塚遺跡出土資料のうち 石匙 はじめ11件43点
令和5年10月31日～ 令和8年10月10日	陸前高田市立博物館	友好館提携事業の一環として 令和5年11月3日 ～令和8年9月30日	考える人 1件1点
3月1日～6月9日	東京国立博物館	法然と極楽浄土 4月16日～6月9日	無量義経(寄託品) 1件1点
令和5年11月1日～ 令和9年3月31日	名古屋城調査研究センター	名古屋城石垣拓本調査のため	名古屋城石垣刻印「松平土 佐守山内掃部」拓本 1件1点
3月15日～6月28日	体感！しだみ古墳群 ミュージアム	埴輪づくりのわざ 3月19日～6月16日	一本松古墳出土資料 はじめ2件3点
9月17日～11月19日	刈谷市歴史博物館	刈谷生まれの雪の殿さま 土井利位 10月5日～11月17日	源頼光館土蜘蛛作妖怪 はじめ4件8点
10月1日～ 令和7年1月12日	東京富士美術館	サムライ・アート展 一刀剣、印籠、武具 甲冑、武者絵、合戦絵— 10月12日～12月22日	大江山酒呑童子 はじめ4件13点
10月10日～12月25日	名古屋城総合事務所	名古屋城と名古屋まつり 10月19日～12月15日	東照宮祭礼図巻 はじめ2件8点
10月23日～12月10日	犬山城白帝文庫	犬山城 一公園から始まる新たな歩み— 10月30日～12月3日	御幣行列配置図 はじめ6件7点
11月22日～ 令和7年2月12日	佐賀県立美術館	桃山三都 一京・大坂と肥前名護屋— 12月6日～令和7年1月29日	天正大判 1件1点
11月26日～ 令和7年2月28日	みよし市立歴史民俗 資料館	石材の調査のため	石器石材標本 1件1点
12月16日～ 令和7年3月5日	名古屋城総合事務所	名古屋城と相応寺一家康を愛した女性 相応院の眠る寺 12月21日～令和7年2月24日	相応寺旧蔵障壁画 2件13点
12月16日～ 令和7年3月5日	名古屋城総合事務所	名古屋城と相応寺一家康を愛した女性 相応院の眠る寺 12月21日～令和7年2月24日	水野太郎左衛門家資料のうち 相応寺鐘につき覚書(寄託品) 1件1点
令和7年1月4日～ 令和7年3月31日	岡山県立美術館	茶碗 茶の湯にふれる 令和7年1月31日 ～令和7年3月16日	黒楽茶碗 銘「時雨」 1件1点

令和7年1月15日～ 令和7年3月26日	東京ステーションギャラリー	生誕120年 宮脇綾子の芸術 見た、切 った、貼った 令和7年1月25日 ～令和7年3月16日	吊し柿図屏風 はじめ5件9点
合計	貸出先総件数 17件		貸出資料総件点数 51件 126点

※分館での展示は除く

## 5 収集資料目録

### (1) 受贈資料一覧（分類順）

分類	資料名	点数	時代
100	出土地不明資料	32点	古墳時代～中世
110	大高出土資料	一括	旧石器時代・縄文時代
110	下新町遺跡出土資料	一括	縄文時代・弥生時代
110	瑞穂区白竜町出土資料	一括	縄文時代・弥生時代
110	鉢ノ木遺跡出土資料	一括	縄文時代・中世
110	H-117号窯出土資料	17点	古墳時代・平安時代
110	天白町八事山田出土資料	6点	古墳時代・平安時代
112	縄文土器片(北原町三丁目出土)	1点	縄文時代
112	瑞穂区高田町4丁目尾張高校グラウンド出土資料	一括	縄文時代
112	上ノ山貝塚Z地点出土資料	一括	縄文時代
112	雷貝塚出土資料	一括	縄文時代
112	大根貝塚出土資料	一括	縄文時代
113	西志賀遺跡出土資料	一括	弥生時代
113	弥生土器 蓋(見晴台遺跡出土)	1点	弥生時代
113	清水寺遺跡出土資料	一括	弥生時代
114	高藏遺跡出土資料	一括	弥生時代
114	断夫山古墳出土資料	48点	古墳時代
114	埴輪片(光正寺貝塚出土)	1点	古墳時代

115	軒平瓦片(大喜梅林遺跡出土)	1点	平安時代
120	萩平遺跡出土資料	一括	旧石器時代・縄文時代
121	加生沢遺跡出土資料	一括	旧石器時代
121	日吉遺跡出土資料	一括	旧石器時代
123	貝殻山貝塚出土資料	一括	弥生時代
125	山茶碗(常滑市古場出土)	1点	平安時代
126	踊平窯出土資料	2点	中世
126	古瀬戸 おろし皿(木下川窯出土)	1点	中世
238	内裏籬図	1幅	江戸時代後期
238	蘭亭曲水図	1幅	江戸時代後期
238	蜀道雪景図	1幅	江戸時代後期
238	仙山樓閣図	1幅	江戸時代後期
238	江村訪友図	1幅	江戸時代後期
238	流水図孔雀図衝立	1基	江戸後期
243	川中嶋信玄謙信旗本大合戦之図	3枚	江戸時代後期
243	木曾街道六十九次之内妻籠	1枚	江戸時代後期
243	太平記小牧山大合戦	3枚	江戸時代後期
243	金時五郎宗氏ほか	3枚	江戸時代後期
252	雪景山水図	1幅	大正
252	東海道狂歌道中画卷	1巻	大正
252	不動明王立像	1幅	昭和後期
252	達磨大師像	1幅	昭和後期
253	井上直廉画像	1幅	昭和後期
253	扇子	2本	昭和後期

271	月百姿 君は今駒かいた あたりほとゝきすな たか雄	1枚	明治
271	月百姿 史家村月夜 九紋竜	1枚	明治
271	月百姿 朝野川晴雪月 孝女ちか子	1枚	明治
271	月百姿 山城小栗栖月	1枚	明治
271	月百姿 朱雀門の月 博雅三位	1枚	明治
271	月百姿 竹生島月 経正	1枚	明治
271	月百姿 卒塔婆の月	1枚	明治
271	月百姿 北山月 豊原統秋	1枚	明治
271	月百姿 神事残月	1枚	明治
271	月百姿 心觀月 手友梅	1枚	明治
271	月百姿 音羽山月 田村明神	1枚	明治
271	月百姿 銀河月	1枚	明治
271	月百姿 しらしらとし らけたる夜の月かけ に 雪かきわけて梅の 花折る 公任	1枚	明治
271	月百姿 蘭夜月 熊坂	1枚	明治
271	月百姿 賊巣の月 小碓皇子	1枚	明治
271	月百姿 淮水月 伍子胥	1枚	明治
271	月百姿 五節の命婦	1枚	明治
271	月百姿 西宮夜静百花 香 欲捲珠簾春恨長 斜抱雲和深見月 蘭々 樹色隱照陽 王昌齡	1枚	明治
271	月百姿 常にこそ曇も いとへと今宵そと お もふは月の光なりけ り 玄以	1枚	明治
271	月百姿 ほとゝきすな をも雲ゐに上るかな 頼政とりあへす 弓張 月のいるにまかせて	1枚	明治
271	月百姿 あまの原ふり さけみれば春日なる 三笠の山に出し月か も	1枚	明治
271	月百姿 孝子の月 小野篁	1枚	明治
271	月百姿 赤壁月	1枚	明治
271	月百姿 忍岡月 玉渕斎	1枚	明治
271	月百姿 雨中月 児嶋高徳	1枚	明治
271	月百姿 おもひきや雲 ゐの秋のそらならて 竹あむ窓の月を見ん とは 秀次	1枚	明治
271	月百姿 霜満軍營秋氣 清 数行過雁月三更 謙信	1枚	明治
271	月百姿 かしかまし野 もせにすたく虫の音 よ 我たになかくもの をこそおもへ	1枚	明治
271	月百姿 法輪寺の月 横笛	1枚	明治
271	月百姿 雪後の暁月 小林平八郎	1枚	明治
271	月百姿 調布里の月	1枚	明治
271	月百姿 つきの發明 宝蔵院	1枚	明治
271	月百姿 月の四の緒 蟬丸	1枚	明治
271	月百姿 三日月の頃よ り待し今宵哉 翁	1枚	明治
271	月百姿 桜さくすみた の川にこくふねも く れて閑屋に月をこそ 見れ 水木辰の助	1枚	明治

271	月百姿 梵僧月夜受桂子	1 枚	明治
271	月百姿 猿楽月	1 枚	明治
271	月百姿 いてしほの月	1 枚	明治
271	風俗三十二相 あい たさう	1 枚	明治
271	浮世絵大津之連中 酔眠の図	2 枚	明治
419	蟹建水	1 点	昭和
419	片口向付	1 箱	昭和
483	刀 銘「大和守源康道」	1 口	江戸時代前期
484	脇指 無銘	1 口	江戸時代後期
484	短刀 銘 尾張国政秀	1 口	江戸時代後期
501	春日井郡清須村日吉神社関係資料	404 点	桃山時代～明治
503	尾張藩陪臣野崎久治 献金関係資料	6 点	江戸時代中期～江戸時代後期
504	近藤昭治・弘子関係資料	160 点	昭和
504	二村蘭秋旧蔵資料	一括	昭和
504	旧名城小学校関係資料	一括	明治～昭和後期
504	大橋戒俊・美寿子関係資料	一括	大正～昭和前期
504	楠小学校旧蔵資料	一括	江戸時代後期～昭和
523	井上直廉帰尾張序	1 卷	江戸時代後期
523	門人帳	1 軸	江戸時代後期
553	灌心流柔道目録	1 軸	江戸時代後期
553	大坪本流飛鳥之巻	1 軸	江戸時代後期
560	井東敏夫・正夫旧蔵 伊藤観魚関係資料	一括	大正～昭和
563	大口周魚和歌懐紙「朝晴雪」	1 幅	明治～大正
564	短冊	4 枚	昭和
565	色紙	39 枚	昭和
582	名古屋新聞	2 級	明治
582	官報雑誌	1 級	明治
582	名古屋絵入新聞	1 級	明治

582	滑稽新聞	1 級	明治
584	名古屋新聞	5 部	昭和前期
584	中部日本新聞	7 部	昭和前期
584	朝日新聞	3 部	昭和前期
584	毎日新聞	1 部	昭和前期
585	昭和天皇崩御・平成改元関係新聞	22 部	昭和後期～平成
587	刀剣会誌	3 冊	明治～大正
588	多納趣味	3 冊	昭和前期
589	週刊朝日 第 94 卷第 2 号	1 部	平成
593	仲上家家族写真	一括	昭和
593	アルバム	4 点	昭和後期
593	葬儀の写真	3 点	昭和前期
595	最新版 大名古屋名所	21 枚	昭和前期
595	特別大演習紀念絵端書	2 枚	大正
597	昭和十五年一月御值段定価表	1 冊	昭和前期
597	軍人勅諭歌詞五十周年記念刀剣大会出品目録	1 冊	昭和前期
597	歌のしおり	1 点	昭和後期
597	「第 32 回名古屋まつり」パンフレット	1 点	昭和後期
598	新刀価額一覧表	1 枚	昭和後期
598	古刀価額一覧表	1 枚	昭和後期
和こ	古刀銘鑑大全	1 冊	明治
和し	諸流秘訣集	1 冊	江戸時代後期
和そ	増補掌中新刀銘鑑大全	1 冊	江戸時代
和ふ	婦美のかけはし	1 冊	明治
和へ	碧墅図録	1 冊	明治
和ほ	本朝新刀一覧	1 冊	江戸時代
洋し	新篇刀剣便覧	1 冊	昭和前期
613	帶留	10 点	昭和前期
618	重掛	1 枚	昭和前期
614	中折帽子	1 点	昭和
627	朱塗膳	1 箱	明治
627	萩模様朱塗内黒吸物椀	1 箱	明治

628	四段重	1 箱	昭和後期
629	輪島菓子椀	1 箱	江戸時代後期
629	菓子型	6 点	昭和
635	櫛炬燵	1 点	昭和後期
635	練炭火鉢	1 点	昭和
635	足温器	1 点	昭和
649	レコード	2 点	昭和後期
649	DVD	3 点	現代
649	レコード	6 点	昭和後期
651	群馬県甘楽郡富岡尋常高等小学校児童成績通知簿	1 通	昭和前期
651	名古屋市枇杷島尋常高等小学校教育手帳	2 冊	昭和前期
651	名古屋市枇杷島国民学校通知表	1 通	昭和前期

652	小学読本 三	1 冊	明治
654	鉛筆	4 ダース	昭和後期
655	天秤	1 点	
678	山車「神皇車」車軸	2 本	昭和後期
678	山車「神皇車」車軸繋ぎ材	2 本	明治～昭和前期
678	山車「神皇車」軸受	8 点	昭和後期
678	山車「神皇車」鉄輪	8 点	昭和後期
687	仏壇	1 基	江戸時代後期
697	旧横須賀海軍経理部名古屋支部職員名簿	2 点	昭和後期
760	鞞師関係資料	3 件	昭和前期
773	経済日記	1 点	昭和前期
910	石器石材標本	一括	中生代～新生代

## (2) 購入資料一覧

基金動産からの移管資料

分類	資 料 名	点数	時 代
227	寿老人に亀相撲図	1 幅	江戸時代後期
237	小牧長久手合戦図屏風	1 隻	江戸時代中期
243	ぎょうとくしほはまよりのぶとのひかたをのぞむ	1 枚	江戸時代後期
243	おしをくりはとうつうせんのづ	1 枚	江戸時代後期
243	有松絞 竹谷佐兵衛店先	1 枚	江戸時代後期
243	有松絞 丸谷丈助店先	1 枚	江戸時代後期
252	大惣貸本店図	1 幅	昭和前期
483	刀 銘「伯耆守藤原信高」「寛文三年二月吉日閑遊入道作」	1 口	江戸時代前期
503	酒井林左衛門家資料	一括	江戸時代
516	豊臣秀吉自筆書状	1 幅	安土桃山時代
523	人足札	一括	江戸時代
525	尾張名古屋 埋木之図（尾張藩幅下水道図面）	一括	江戸時代後期～明治
525	尾張国中島郡中之庄村御検地帳	1 冊	江戸時代前期
525	尾張国枇杷島村川口家勤仕書上	1 級	江戸時代後期～明治
525	余延年宛月懲書簡	1 幅	江戸時代
550	高力猿猴庵著書	一括	江戸時代後期
551	蓬瀛勝会	一括	江戸時代後期
552	安永洪水図	1 冊	江戸時代後期
552	当世破れ頭巾・夏日つれづれ	1 冊	江戸時代後期
554	知多方歳	1 冊	江戸時代後期
567	松尾芭蕉発句懐紙	1 幅	江戸時代前期

※基金による購入資料は、基金動産から市備品に移管したときに計上する。

## 6 指定・認定文化財一覧（館蔵資料）

### 【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	秋草鶴図屏風	1 双	江戸時代
2	工芸	魚波文瓶子	1 口	鎌倉時代 濑戸灰釉
3	書	三宝絵	1 帖	平安時代 源為憲撰 保安元年(1120)書写奥書
4	工芸	太刀 銘「国泰」	1 口	鎌倉時代 肥後国延寿派国泰作
5	工芸	太刀 銘「行平作」	1 口	鎌倉時代 豊後国行平作
6	工芸	太刀 銘「雲生」	1 口	鎌倉時代 備前国宇甘派雲生作
7	工芸	黒楽茶碗「時雨」	1 口	江戸時代 本阿弥光悦作
8	書	豊臣家文書	一括	桃山時代～江戸時代初期

### 【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	袈裟襷文銅鐸	1 基	弥生時代 伝滋賀県出土
2	工芸	三角縁神獸鏡	1 面	古墳時代前期 奈良県都祁村白石光伝寺裏山古墳出土
3	書	広義門院所領処分状	1 幅	南北朝時代 貞和 5 年(1349)9 月 15 日付 光厳上皇筆
4	工芸	阿弥陀三尊懸仏	1 面	室町時代
5	絵	疊泉密竹図	1 幅	江戸時代後期 山本梅逸筆
6	書	千載和歌集断簡	1 幅	平安時代後期 日野切
7	考古	瓦製光背片	1 点	平安時代後期 三重県伊勢市小町経塚出土
8	工芸	太刀 銘「備前国住雲次」	1 口	鎌倉時代 備前国宇甘派雲次作
9	工芸	太刀 銘「景安」	1 口	鎌倉時代 備前国景安作
10	工芸	太刀 折返銘「吉綱」	1 口	鎌倉時代 備前国吉綱作
11	工芸	刀 無銘	1 口	鎌倉時代 伝包永
12	工芸	刀 無銘	1 口	南北朝時代 伝左
13	工芸	壺形土器 蓋有	2 点	弥生時代前期 名古屋市北区西志賀町遺跡出土
14	工芸	鳥形鉢蓋付高脚壺	1 口	古墳時代後期 伝名古屋市瑞穂区師長町出土
15	書	豊臣秀吉書状	1 幅	桃山時代 おとら宛

### 【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	魚波文四耳壺	1 口	鎌倉時代後期 濑戸灰釉 岐阜県出土
2	絵	四季花鳥図屏風	1 双	江戸時代後期 山本梅逸筆
3	考古	短甲	1 領	古墳時代後期 伝岡崎市出土 25 点付属
4	考古	三角縁神獸鏡・六神鏡	2 面	古墳時代前期 東海市兜山古墳出土
5	考古	壺	1 口	弥生時代中期 岩倉市大地遺跡出土
6	考古	壺	1 口	弥生時代前期 丹羽郡大口町西浦遺跡出土
7	絵	相応寺旧蔵襷絵	12 面	江戸時代初期
8	絵	築城図屏風	1 隻	安土桃山時代
9	絵	樂々園四季真景図巻	1 卷	江戸時代後期 宋紫岡筆
10	絵	山水図押絵貼屏風	1 双	江戸時代後期 中林竹洞筆
11	歴史	尾張藩領産物帳	20 冊	江戸時代中期
12	工芸	三尊来迎繡仏	1 幅	南北朝時代 弘淨寺伝来

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	有形民俗文化財	荒子西の烟屋敷馬道具	1 式	江戸時代後期～昭和前期
2	有形民俗文化財	荒子西屋敷馬標及馬道具	1 式	明治～昭和前期
3	歴史	横井也有関係資料	128 点	江戸時代
4	工芸	裁断橋擬宝珠	4 基	江戸時代前期
5	考古	大須二子山古墳出土品	16 点	古墳時代
6	有形民俗文化財	高橋家伝来医薬器具	一括	江戸時代中期～末期
7	絵	徳川宗春戯画贊	1 幅	江戸時代中期
8	絵	伊勢參宮図屏風	1 隻	江戸時代前期

7 指定・認定文化財一覧 (受託資料)

【国宝】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	古事記	3 帖	南北朝時代 宝生院所蔵
2	書	漢書食貨志第四	1 卷	奈良時代 宝生院所蔵
3	書	瑠璃集	2 卷	奈良時代 宝生院所蔵

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	過去現在絵因果経	1 卷	平安時代 聖徳寺所蔵
2	書	七寺一切経	100 帖	平安時代 七寺所蔵
	絵	唐櫃	1 合	
3	絵	騎馬武者像	1 幅	室町時代 地蔵院所蔵
4	書	無住道晚筆文書	3 幅	鎌倉時代 六祖偈・置文・夢想記 長母寺所蔵
5	絵	四季山水図屏風	1 双	室町時代 真宗大谷派名古屋別院所蔵
6	書	樵隱悟逸墨蹟	1 幅	中国元時代 友山士思宛
7	書	寸松庵色紙	3 点	平安時代
8	考古	袈裟襷文銅鐸	1 基	弥生時代 福井県坂井市春江町井向出土
9	絵	千手観音二十八部衆像	1 幅	鎌倉時代 護国院所蔵
10	絵	聖宝像	1 幅	南北朝時代 林昌院所蔵
11	工芸	短刀 銘了戒	1 口	鎌倉時代 了戒作
12	絵	二河白道図	1 幅	鎌倉時代 蓮光寺所蔵
13	彫刻	地蔵菩薩立像 像内納入品	一括	鎌倉時代 西光寺所蔵 (年度途中で解除)
14	彫刻	愛染明王坐像(像内に合子入愛染明王坐像を納める)	1 軀	鎌倉時代 甚目寺所蔵

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	細形銅劍	1 口	弥生時代 名古屋市守山区上志段味上島出土
2	工芸	七鈴鏡	1 面	古墳時代後期 名古屋市守山区羽根古墳出土
3	工芸	経塚関係資料	8 点	平安時代後期 大御堂寺所蔵
4	工芸	太刀 無銘 附拵	1 口	伝来国光
5	工芸	インス茶碗	1 口	江戸時代前期
(6)	工芸	(魚形土器)	(1 点)	弥生時代後期 名古屋市南区桜田貝塚出土 現名古屋市指定文化財

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	織田又六画像	1 幅	安土桃山時代 善光寺別院願王寺所蔵
2	考古	壺	1 口	弥生時代 北名古屋市伝馬塚出土

3	絵	花鳥図	双幅	中国画 明眼院所蔵
4	絵	花鳥図	1幅	中国画 明眼院所蔵
5	絵	風神雷神図	双幅	江戸時代 狩野常信筆 明眼院所蔵
6	絵	円窓山水図屏風	1隻	江戸時代 明眼院所蔵
7	工芸	糸杵蒔絵茶箱	1合	江戸時代 明眼院所蔵
8	工芸	茶壺	1口	中国製 14~16世紀 明眼院所蔵
9	工芸	金剛鈴杵	1口	明眼院所蔵
10	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1対	室町時代 伊勝八幡宮所蔵
11	絵	弁財天像	1幅	鎌倉時代 乾坤院所蔵
12	絵	諸尊集会図	1幅	鎌倉時代 乾坤院所蔵
13	書	正法眼藏	15冊	室町時代 乾坤院所蔵
14	絵	田中訥言画蹟	3点	江戸時代後期 釈迦院所蔵 郭公の図他
15	書	『因明三十三過記』紙背文書	24通	鎌倉時代 宝生院所蔵
16	絵	円光大師画像	1幅	南北朝時代 祐福寺所蔵
17	絵	遣迎二尊画像	1幅	南北朝時代 祐福寺所蔵
18	工芸	古萩茶碗	1合	江戸時代 明眼院所蔵
19	彫刻	如来形立像	1軀	奈良時代 祐福寺所蔵
20	書	石山切	1幅	平安時代 貫之集下断簡
21	絵	渡辺暁山手録	3冊	江戸時代後期 渡辺暁山筆
22	工芸	刺繡如意輪観音像	1幅	南北朝時代 観音寺(荒子観音)所蔵

#### 【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	梵鐘	1口	江戸時代前期 水野太郎左衛門鑄造 性高院所蔵
2	絵	地蔵菩薩画像	1幅	南北朝時代 地蔵寺所蔵
3	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1個	室町時代 伊勝八幡宮所蔵
4	工芸	魚形土器	1点	弥生時代後期 名古屋市南区桜田貝塚出土 旧国認定重要美術品
5	絵	玉照姫・藤原兼平中将画像	2幅	江戸時代前期 泉増院所蔵

#### 【他市町村指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	愛西市指定文化財	太刀 銘「従備前尾州来兼光…」	1口	江戸時代 安政3年(1856) 鶴多須区所蔵
2	清須市指定文化財	泰亨車山車関係資料	140点	清須市西枇杷島町東六軒町町内会所蔵
3	東郷町指定文化財	書留帳	3冊	江戸時代 祐福寺所蔵
4	東郷町指定文化財	祐福寺縁起	2巻	江戸時代 祐福寺所蔵
5	東郷町指定文化財	帝鑑の図	1隻	江戸時代 祐福寺所蔵
6	東郷町指定文化財	雲版	1口	室町時代 正長2年(1429) 祐福寺所蔵
7	清須市指定文化財	西枇杷島問屋町頼朝車関係資料	7点	問屋町町内会所蔵
8	東郷町指定文化財	阿弥陀三尊来迎図	3幅	南北朝時代 祐福寺所蔵 小三尊
9	東郷町指定文化財	当麻曼荼羅	1幅	南北朝時代 祐福寺所蔵
10	東郷町指定文化財	不動明王像	1幅	室町時代 祐福寺所蔵
11	大治町指定文化財	小堀遠州書状	1幅	江戸時代 明眼院所蔵
12	大治町指定文化財	尾州海東郡馬鳴村薬師領御縄打帳 写	1綴	江戸時代 慶長13年(1608)成立 明眼院所蔵

※館蔵・受託資料ともリニューアル改修に先立ち、別施設へ退避又は所蔵者に返還中の資料を含む。

## 8 名古屋市博物館収蔵品データベース

令和6年度は、新たに名古屋市秀吉清正記念館の収蔵品データベースを構築した。また、国立国会図書館が提供するジャパンサーチと連携した。

【名古屋市博物館収蔵品データベース登録累計件数】

データベースの種類	資料件数		画像件数	
	登録件数	公開件数	登録件数	公開件数
名古屋市博物館館蔵品	111,367	98,708	221,882	38,368
名古屋市博物館寄託品	5,598	-	5,881	-
秀吉清正記念館館蔵品	411	390	826	0
合計	117,376	99,098	228,589	38,368

※名古屋市博物館寄託品のデータベースは公開していない。

## IV 管理・運営

### 1 博物館の魅力向上

#### (1) 事業の目的、効果

当館は開館後 45 年以上経過し、施設の機能更新の時期を迎えており、こうした機会を捉え、時代に即した名古屋市博物館に生まれ変わり、市民や来訪者により親しまれる名古屋市博物館となるための魅力向上に取り組んでいるところである。令和 6 年度は「名古屋市博物館の魅力向上基本計画」に基づき博物館耐震改修その他工事等を行った。

#### (2) 事業の経過

令和 3 年度

- ・「名古屋市博物館の魅力向上基本計画」策定

令和 4 年度

- ・展示・収蔵環境等の基本設計
- ・博物館リニューアル改修の基本設計
- ・仮収蔵施設の建設
- ・収蔵資料等の梱包・輸送

令和 5 年度

- ・展示・収蔵環境等の実施設計
- ・博物館リニューアル改修の実施設計
- ・仮収蔵施設の建設
- ・収蔵資料等の梱包・輸送

令和 6 年度

- ・博物館耐震改修その他工事
- ・展示・収蔵環境等整備工事

#### (3) 収蔵資料のデジタル化

館蔵の祭礼記録映像資料 1 件 1,346 点のクリーニング、デジタル化を実施した。

#### (4) シンボルマーク及びロゴタイプの作成

リニューアルを契機に、子どもから大人までより多くの方に愛され来館していただけるようにとの思いを込め、シンボルマークとロゴタイプを作成した。

令和 7 年 4 月 1 日より名古屋市博物館が提供す

る情報、サービス等に表示する。

### 2 みんなの博物館応援基金

当館において開催する事業の充実や設備・備品更新をすることで施設の魅力をアピールするため、市民の寄附を募った。

#### (1) 令和 6 年度の活用実績

公用車のリース

#### (2) みんなの博物館応援事業寄附金

○令和 6 年度寄附実績

個人	5 名	573,000 円
団体	1 件	173,610 円
計	6 件	746,610 円

○寄附者(公開に同意の方のみ、受付順、敬称略)  
福島佐千男、堀江倫孝

# 分 館

## I 名古屋市蓬左文庫

### 1 閲 覧

尾張徳川家の旧蔵書を中心に和漢の優れた古典籍、古地図、絵図などを所蔵する公開文庫として閲覧に供した。

閲覧日数	297 日
閲覧室総利用者数	5,473 人
閲覧冊数	12,729 冊
レファレンス	361 件
(窓口 189 件 電話 153 件 文書 19 件)	

### 2 展 示

尾張徳川家の伝来品等により、近世武家文化の魅力を世界に向けて発信するため、徳川美術館と連携した展示を行った。

#### (1) 特別展

観覧料 一般	1,600 円	高大生	800 円
小中生	500 円		

徳川美術館との共通料金

#### ア 夏季特別展「もののふの備え」

##### 甲冑の美学・馬とともに

会 期	7月 27 日～9月 16 日	(開室日数 46 日)
会 場	蓬左文庫展示室、徳川美術館本館	
主 催	名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、読売新聞社	
観覧者数	21,980 人	
展示意図	色彩豊かな威糸で装飾された中世の大鎧、具足など、その歴史と美しさを紹介。また、武家社会において馬術は必須の嗜みで、武士とともに生きた馬の魅力を、多様な作品を通して紹介した。	
展示件数	91 件・52 件	
印 刷 物	ポスターB2・B3 判、チラシA4 判	

#### イ 秋季特別展「みやびの世界」

##### 魅惑の源氏物語・宮廷文化の華

会 期	9月 22 日～11月 4 日
	(開室日数 38 日)

会 場 蓬左文庫展示室、徳川美術館本館

主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、中日新聞社、日本経済新聞社

観覧者数 33,153 人

展示意図 紫式部が著した「源氏物語」の文化史を紹介し、その魅力を紐解いた。また、平安時代以降に宮廷のなかで育まれてきた文化は、宮廷で華開き、長らく伝えられてきた。この雅びの文化を紹介した。

会 場 蓬左文庫展示室、徳川美術館本館

展示件数 80 件・52 件

印 刷 物 ポスターB2・B3 判、チラシA4 判

#### (2) 企画展

観覧料 一 般	400 円 (1,600 円)
	(オは 1,400 円)
高大生	300 円 (800 円)
小中生	200 円 (500 円)

( ) は徳川美術館との共通料金

#### ア 「ひなを楽しむ—旧家のひな飾りー」

会 期 2月 3 日～4月 3 日

(開室日数 52 日)

主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館

観覧者数 1,384 人 (4月 1 日～3 日)

39,312 人 (通期)

展示意図 江戸時代から昭和に至るまでの旧家で飾られた様々なお雛様を紹介した。素朴な中にも楽しみを感じさせてくれる展示となった。

展示件数 22 件

印 刷 物 ポスターB2・B3 判、チラシA4 判

#### イ 「人・ひと・ヒト 浮世絵の人と顔」

会 期 4月 13 日～6月 2 日

(開室日数 44 日)

主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館

入場者数 23,682 人

展示意図 浮世絵の歴史の中で中心的ジャンルであった美人画と役者絵を展示。浮世絵の人物表現の諸相を紹介した。

展示件数 67 件  
印 刷 物 ポスターB2・B3 判、チラシA4 判

### ウ「ハマる！工芸」

会 期 6月8日～7月21日（開室日数38日）  
主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館  
観覧者数 19,015 人  
展示意図 漆工芸や金工品、焼物などの工芸品には、巧みな素材の組み合わせや卓越した技術が隠されており、この中の「ハマる」をキーワードに、工芸品の様々な姿や秘密に迫る展示とした。  
展示件数 54 件  
印 刷 物 ポスターB2・B3 判、チラシA4 判

### エ「とんがり美術 -キワだつ個性-」

会 期 11月9日～12月15日（開室日数32日）  
主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館  
観覧者数 21,824 人  
展示意図 独特の雰囲気や印象を発し、他とは一線を画する個性豊かな作品たちを「とんがり美術」と総称し、それらが「誕生した背景を紹介した。  
展示件数 40 件  
印 刷 物 ポスターB2・B3 判、チラシA4 判

### オ「めでたきかなお正月」

会 期 令和7年1月4日～1月26日  
（開室日数20日）  
主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、毎日新聞社  
観覧者数 7,909 人  
展示意図 年の初めを祝う日本のお正月のさまざまな「めでたい」アイテムや、その由来を紹介した。  
展示件数 59 件  
印 刷 物 ポスターB2・B3 判、チラシA4 判

### カ「江戸絵画に新風が吹く」

会 期 令和7年2月1日～4月2日  
（開室日数50日 3月31日まで）

主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館  
観覧者数 30,752 人（3月31日まで）  
展示意図 江戸時代後半の絵画史、とりわけ名古屋地域でも顕著な新潮流となった、「長崎派」「南画」「復古やまと絵派」の作品を紹介した。  
展示件数 48 件  
印 刷 物 ポスターB2・B3 判、チラシA4 判

## 3 教育普及

### （1）講演会

10月24日「のぞいてみよう、名工のお仕事～東本願寺大工柴田家と尾張伊藤家～」  
講 師 小山興誓氏  
（魚津社寺工務店取締役営業部長）

70 人

会 場 徳川園ガーデンホール  
令和7年1月29日「銅人臍穴鍼灸図経碑のすがたを求めて—拓本に残る痕跡から原形復原に挑む—」  
講 師 辻 正博氏（京都大学大学院教授）

50 人

会 場 徳川園ガーデンホール

### （2）特別展記念講演会

8月4日「日本甲冑の特質—機能性・装飾性・象徴性—」  
講 師 佐藤寛介氏（東京国立博物館室長）

80 人

会 場 徳川美術館講堂

9月22日「現代用語で読み解く『源氏物語』～宇治十帖の世界～」  
講 師 奥山景布子氏（小説家・文学博士）

80 人

会 場 徳川美術館講堂

### （3）講座

10月28日「蓬左文庫のあゆみ」  
講 師 星子桃子（名古屋市蓬左文庫学芸員）

20 人

会 場 名古屋古書会館

12月5日「名古屋市蓬左文庫の歴史について」  
講 師 星子桃子（名古屋市蓬左文庫学芸員）

34 人

会 場 富士中学校

#### (4) 初心者向けミニ講座

7月 31 日 「金鱗九十九之塵を読みこなす」

講 師 井上善博氏（元名古屋市蓬左文庫職員）

30 人

会 場 蓬左文庫講座室

#### (5) 蓬左文庫古書市

11月 2 日～11月 4 日 978 人

会 場 蓬左文庫旧書庫

（講座室・エントランスホール）

主 催 名古屋市蓬左文庫

協 力 名古屋古書籍商業協同組合

#### (6) 連携事業

##### 「歩こう文化のみち」実行委員会との連携

11月 2 日～24 日

クイズラリー他

520 人

主催：歩こう文化のみち実行委員会

（事務局：東区役所）

#### (7) 団体見学等

大学生等の団体を受け入れ、解説を行った。

愛知県立大学、金城学院大学、国学院大学大学院、  
アップビートインターナショナルスクール、徳川  
林政史研究所、小牧市歴史ガイドボランティアの  
会

6 件 85 人

### 4 調査研究

#### (1) 名古屋叢書四編『青窓紀聞 卷15～卷18』

##### の発行

尾張名古屋の歴史資料を活字化し、市民の調査  
研究を支援するため、昭和 34 (1959) 年から刊行  
を始めた『名古屋叢書』の四編として、第四冊目  
『青窓紀聞 卷15～卷18』を発行した。

#### (2) 「蓬左」の発行

蓬左文庫の蔵書を市民にわかりやすく紹介す  
るため、広報誌「蓬左」を発行した。

「蓬左」No. 107

- ・『銅人経』拓本を探る! ③
- ・のぞいてみよう、名工のお仕事 3
- ・俳諧懐紙と千鳥塚（後）

・東寺文書

「蓬左」No. 108

・のぞいてみよう、名工のお仕事 4

・『銅人経』拓本を探る! ④

・銅人臍穴鍼灸図経裏打紙文書

#### (3) 共同研究活動

蓬左文庫資料にかかる学芸員との共同研究

・伊藤満作家家資料調査チーム（名城大学研  
究者はじめ）

・「銅人臍穴鍼灸図経」調査チーム（立命館大  
学研究者はじめ）

・蓬左文庫典籍研究会（愛知大学研究者はじ  
め）

### 5 出 版 物

「蓬左」No. 107 A4 判 8 頁 2,000 部（無料）

「蓬左」No. 108 A4 判 8 頁 2,000 部（無料）

「年間行事予定」A4 判 6,000 枚（無料）

### 6 特 別 利 用

原板使用（掲載）	86 件 305 点
原板使用（その他）	30 件 45 点
熟覧	14 件 40 点
撮影	0 件 0 点
合計	130 件 390 点

### 7 複 写

356 件 (49,514 枚)

### 8 資 料 点 数

資料総点数 (内訳)	147,003点
・旧蓬左文庫資料	64,845点
江戸時代から名古屋市移管（昭和25年）	
までに収集された尾張徳川家旧蔵書	
・名古屋市蓬左文庫収集資料+平成25以降の 一般図書等	81,830点
・名古屋市蓬左文庫受託資料 (令和6年度受贈資料)	328点
・小田克夫氏旧蔵資料（夢想流居合伝書）	
	3 件 3 点

## 9 資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名・会期）	おもな貸出資料
4月1日－ 令和7年3月31日	新潟市美術館	もしも猫展 4月13日－6月2日	寿狐の姫入 はじめ 12件18点
4月10日－6月4日	徳川美術館	花咲（わら）い、風の吹くらん 4月13日－6月2日	青牖叢書 はじめ 1件1点
6月3日－7月22日	徳川美術館	尾張徳川家と菩提寺建中寺 6月8日－7月21日	貞慎院様御初建中寺え御参 詣御理方図面 はじめ 1件1点
7月2日－10月11日	宇治市源氏物語 ミュージアム	『源氏物語』が呼んでいる－拡がる古典の世界－ 7月1日－9月29日	やまわけ衣 はじめ 11件11点
9月1日－11月20日	安城市歴史博物館	国絵図の世界～描かれた江戸時代の三河～ 9月28日－11月10日	参河国図 はじめ 2件2点
10月15日－ 令和7年2月14日	サントリー美術館	日本美術と儒教 11月27日－令和7年1月29日	論語 はじめ 4件6点
4月1日－ 令和7年3月31日	広島県立美術館	もしも猫展 12月19日－令和7年2月9日	寿狐の姫入 はじめ 12件18点
令和7年2月20日－ 令和7年5月30日	山梨県立美術館	武田勝頼－日本に隠れなき弓取－ 令和7年3月15日－令和7年5月6日	遠州高天神古城図 はじめ 4件4点
合計	貸出先件数 8件		貸出資料件点数 47件61点

## 10 指定文化財一覧（所蔵資料）

### 【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	続日本紀	30巻 付10巻	鎌倉時代 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
2	書	侍中群要	10巻	鎌倉時代 嘉元4年（1306）北条貞顕筆 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
3	書	齊民要術	22巻	鎌倉時代 文永11年（1274）北条実時奥書 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
4	書	源氏物語（河内本） 付 近衛信尹筆者極 古筆了佐筆者目録	23冊 付2巻	鎌倉時代 正嘉2年（1258）奥書 金沢文庫旧蔵
5	書	論語集解	10冊	鎌倉時代 元応2年（1320）奥書
6	書	宋版太平聖恵方	24冊 付27冊	中国宋時代（13世紀）刊 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
7	書	朝鮮版高麗史節要（銅活字本）	35冊	李氏朝鮮 景泰4年（1453）刊

## 【登録有形文化財(建造物)】

### 蓬左文庫旧書庫

平成 26 年(2014)、黒門・脇長屋など、徳川園内の建造物とともに登録有形文化財(建造物)に登録された。旧書庫は、明治 33 年(1900)に建築された旧尾張徳川家大曾根邸の土蔵を、昭和 10 年(1935)に移転改築したもので、現在は蓬左文庫エントランスとして使用している。

## 【ユネスコ世界記憶遺産（世界の記憶）】

### 朝鮮通信使に関する記録

平成 29 年(2017)10 月、日韓合計 111 件 333 点(日本 48 件 209 点、韓国 63 件 124 点)の「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコの「世界記憶遺産（世界の記憶）」に登録された。この中には蓬左文庫が所蔵する下記資料が含まれている。

朝鮮国三使口占聯句	1 枚	江戸時代・天和 2 年(1682)
甲申韓人来聘記事	1 冊	江戸時代・明和元年(1764)
朝鮮人御饗応七五三膳部之図	1 冊	江戸時代・文化 7 年(1810)
朝鮮人物旗仗輜輿之図	1 卷	江戸時代・19 世紀

## II 名古屋市秀吉清正記念館

### 1 展示

#### (1) 常設展

豊臣秀吉・加藤清正に焦点を当て、あわせて彼らが生きた時代を概説している。館蔵資料を中心とし、6回の展示替えを行った。

開室日数 287日

観覧料 無料

観覧者数 28,472人

#### (2) 特別陳列「重要文化財 豊臣家文書」

会期 10月12日～11月17日 (開室日数31日)

観覧料 無料

観覧者数 3,724人

展示意図 秀吉の妻である高台院(おね)の兄、木下家定の子孫に伝來した、秀吉が閑白に登り詰めるまでの足跡を示す貴重文書を、秀吉の生まれ故郷の中村で公開した。秀吉清正記念館での重要文化財の陳列は開館以来初めてである。

展示点数 1件17点

印刷物 ポスターA2判、チラシA4判、目録A3二つ折り

#### (3) 特集展示、パネル展

特別展示室の活用を図るとともに常設展示を補完するため、以下の展示を行った。観覧料無料。

#### ア パネル展「尾張に残る秀吉と清正の足跡」

会期 2月24日～5月19日 (開室日数71日)

観覧者数 3,737人 (4月1日から5月19日まで)  
6,313人 (通期)

展示意図 秀吉と清正の生まれ故郷尾張に残る生誕地の言い伝えなどを、名古屋近辺のゆかりの寺社や石碑などを中心に紹介した。

#### イ 特集展示「記念館所蔵の武具類」

会期 6月1日～6月30日 (開室日数25日)

観覧者数 2,202人

展示意図 秀吉清正記念館の前身である豊清二公顕彰館時代から受贈するなどして

保管している甲冑や刀剣、馬具など新旧さまざまな品を、隣接する寺社の所蔵品も含めて紹介した。

#### ウ パネル展「藤吉郎から秀吉へ」

会期 7月20日～9月23日 (開室日数54日)

観覧者数 6,091人

展示意図 ふるさと中村を出て織田信長に仕える前まで住んだ浜松時代から、羽柴秀吉と名乗るようになる近江浅井攻め頃までの流れを、伝説も交えて紹介した。

#### エ パネル展「城の構造」

会期 12月14日～令和7年2月16日 (開室日数45日)

観覧者数 5,079人

展示意図 尾張藩士が著した詳細な図入り築城マニュアル『城取図解』(蓬左文庫蔵)を交えながら、城郭施設の多様な姿を、防衛の仕組みを中心に各地の城の実例で紹介した。

#### オ パネル展「清正伝説と信仰」

会期 令和7年3月8日～5月6日 (開室日数51日)

観覧者数 2,057人 (3月31日まで)

展示意図 秀吉配下の武将で肥後国(熊本県)の領主にもなった清正。史実と伝説とが織りなして今に受け継がれている清正への思いを紹介した。

### 2 教育普及等

#### (1) 夏休み事業

##### 「夏休み自由研究 戦国武将にクイズで挑戦」

常設展、パネル展を観覧しながら戦国時代の歴史に親しめるよう、小中学生を対象にクイズラリーを行った。

7月21日～9月1日

375人

#### (2) 連携事業

## 「ひできよ秋の陣」

実物の火縄銃を持つ体験を通じて、その性能や戦場でのありようなどの解説を行った。

10月26日

350人

## 3 特別利用

利用件数	20件
利用資料数	
原板使用（掲載）	63件63点
原板使用（その他）	2件2点

## 4 資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名）・会期	貸出資料
令和7年3月27日 ～令和7年6月3日	京都国立博物館	大阪・関西万博開催記念特別展 「日本、美のるつぼ」 令和7年4月19日～令和7年6月15日	ビロード陣羽織

## 5 資料収集状況

総合計（令和7.3.31現在）						
	受 贈		購 入		計	
絵画	件 45	点 53	件 79	点 120	件 124	点 173
工芸	27	27	24	26	51	53
文書典籍	110	343	67	254	177	597
その他	78	653	3	3	81	656
計	260	1,076	173	403	433	1,479

## 6 指定文化財一覧（館蔵資料）

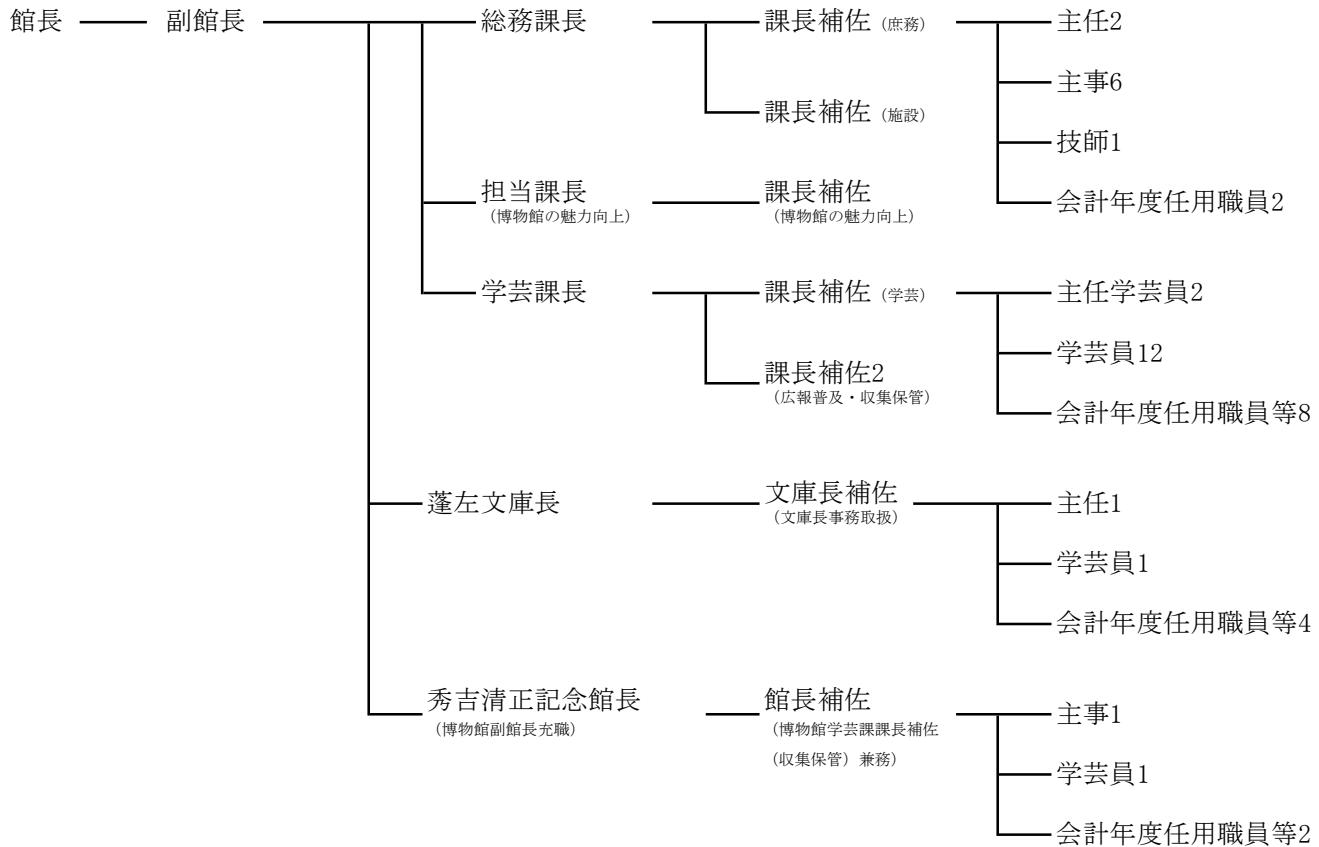
### 【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	歴史	兼松家資料	40点	室町時代後期～江戸時代中期
2	歴史	近江木下家資料	39点	安土時代～江戸時代後期

## 機構

(令和7年3月31日現在)

## ○組織



## ○博物館職員

館長	近藤 善紀	主任学芸員	岡村 弘子
副館長	村木 誠	学芸員	鈴木 雅
総務課長	原田 俊治		小西 恒典
担当課長 (博物館の魅力向上)	佐藤 和久		塚原 明子
課長補佐 (庶務)	小森 由起子		木村 慎平
課長補佐 (施設)	井藤 貴康		佐野 尚子
課長補佐 (博物館の魅力向上)	時田 美里		横尾 拓真
主任	吉田 千秋		羽柴 亜弥
	新家 論子		天野 卓哉
主事	小笠原 直子		富田 航生
	戸田 真梨子		藤原 吉希
	中川 めぐみ		島村 桂子
	島山 将來		伊藤 旭人
	山本 麻由		廣瀬 正嗣
	竹内 俊介	再任用職員	坂野 利光
技師	稻見 猛樹	会計年度任用職員	白山 由華子
会計年度任用職員	川井 賢人		亀井 久美子
	鵜尾 三四郎		加藤 千沙
学芸課長	武藤 真		児玉 実可子
課長補佐 (学芸)	深谷 淳		坪倉 ひとみ
課長補佐 (広報普及)	津田 卓子		石田 泰弘
課長補佐 (収集保管)	山田 伸彦		長谷川 真由

## ○蓬左文庫職員

文庫長	橋 弘子
文庫長補佐事務取扱	橋 弘子
主任	黄 直子
学芸員	星子 桃子
暫定再任用職員	坂東 彰
	安田 万希子
会計年度職員	粕谷 亜矢子
	和佐田 岳男

## ○秀吉清正記念館職員

館長 (博物館副館長充職)	村木 誠
館長補佐 (博物館学芸課課長補佐 (収集保管) 兼務)	山田 伸彦
主 事	近藤 良江
学芸員	加藤 和俊
再任用職員	福井 雅浩
会計年度職員	中村 文香

## ○名古屋市博物館協議会委員 (◎会長、●副会长)

### 順不同

●金城学院大学学院長補佐	長屋 賴子
名古屋市立松栄小学校長	千葉 雅美
熱田神宮宝物館館長	芹田 治
徳川美術館館長	徳川 義崇
名古屋市地域女性団体連絡協議会副会長	杉本 久美子
名古屋市立大学医学部医学科	横田 千咲子
名古屋市立小中学校 P T A 協議会理事	渡邊 直子
公募委員	亀井 淳史
◎愛知県立大学教授	丸山 裕美子
日本放送協会名古屋放送局長	吉野 真史
中日新聞社名古屋本社事業局次長	古田 真一
東朋テクノロジー㈱代表取締役社長	富田 英之
名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	齊藤 肇
愛知教育大学学長補佐	真島 聖子
名古屋市博物館資料委員	塩村 耕
名古屋市障害者団体連絡会会长	橋井 正喜

## ○名古屋市博物館資料委員 順不同

考 古	南山大学人文学部准教授	上峯 篤史
	名古屋大学大学院人文学研究科教授	梶原 義実
美術工芸		
	掛川市ステンドグラス美術館長・二の丸美術館館長	日比野 秀男
	立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員	源城 政好
	桑名市博物館歴史専門官	大塚 由良美
	愛知県銃砲刀剣類登録審査委員	青山 篤志
文書・典籍		
	名古屋大学名誉教授	塩村 耕
	名古屋大学名誉教授	羽賀 祥二
民 俗		
	愛知教育大学名誉教授	野地 恒有
	愛知県立旭丘高等学校教諭	服部 誠

## ○秀吉文書集編集委員 (◎委員長、●副委員長)

### 順不同

◎名古屋大学名誉教授	三鬼 清一郎
●石川県立歴史博物館館長	藤井 譲治
大阪城天守閣学芸主幹	跡部 信
帽山女学園大学名誉教授	加藤 益幹
中京大学名誉教授	播磨 良紀
三重大学特任教授	藤田 達生
前京都橘大学非常勤講師	藤田 恒春
福岡市博物館総館長	中野 等
東京大学史料編纂所教授	山口 和夫

# 名古屋市博物館協議会開催状況

日 時	場 所	議 題
第93回定例会 11月 20日	名古屋市スポーツ振興会館 第1会議室	・令和5年度事業概要について ・令和5年度決算について ・令和6年度事業中間報告について ・博物館のリニューアル改修について
第94回定例会 令和7年 3月 19日	名古屋市公館 小会議室	・令和6年度事業中間報告 ・令和7年度事業計画（案） ・令和7年度予算（案） ・博物館の魅力向上について

## 予 算

### ○名古屋市博物館（本館）

(単位：千円)

展観事業費	普及費	資料費	管理費	職員費	博物館リニューアル改修等
常設展運営費 1,649	教育普及費 2,530	調査研究費 1,223	事務・施設管理費 94,719	職員費 22,401	博物館リニューアル改修等 1,844,283
企画展等 3,240	その他 190	資料購入費 25,612			
特別展 1,474		資料収集データベースの構築等 52,988			
		文化財修復・保存 4,500			
		その他 3,126			
6,363	2,720	87,449	94,719	22,401	1,844,283
				計	2,057,935

### ○分 館

蓬左文庫			秀吉清正記念館		
展観事業費	管理費	職員費	展観事業費	管理費	職員費
62,111	43,358	17,266	1,349	4,689	7,925
計122,735			計 13,963		

総 計 (本館・分館総合計)
2,194,633

# 名古屋市博物館利用状況

## 1 特別展

(単位:人)

	有 料									無 料									計		
	個 人			團 体			身体障害者手帳等			個 人			身体障害者手帳等			招 待 券 等	團 体				
	一 般	高 齢 者	高 大 生	小 中 生	一 般	高 齢 者	高 大 生	小 中 生	一 般	高 齢 者	高 大 生	小 中 生	乳 幼 児	一 般	高 大 生	小 中 生	介 護 者	一 般	高 大 生	小 中 生	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※令和5年10月1日より、リニューアル改修に伴い休館中。

## 2 常設展

(単位:人)

月	有 料						無 料									團 体 件 数	計	
	個 人			團 体			個 人			身体障害者手帳等			サ ボ ト ラ ー 制 度	招 待 券 等	團 体			
	一 般	高 齢 者	高 大 生	一 般	高 齢 者	高 大 生	一 般	高 大 生	小 中 生	一 般	高 大 生	介 護 者			一 般	高 大 生	小 中 生	
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※令和5年10月1日より、リニューアル改修に伴い休館中。

### 3 月別入場者数

#### (1) 名古屋市博物館

(単位:人)

月	開館日数	常設展	ビデオコーナー	触れてみるコーナー	収蔵品展	特別展企画展等	共催展	ギャラリー	講堂	展示説明室	体験学習室	ナイトミュージアム	歴史体験セミナー	計	累計
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※令和5年10月1日より、リニューアル改修に伴い休館中。

#### (2) 蓬左文庫

(単位:人)

月	展示室開室日数(日)	有料区域分		展示室総入館者数(a)	閲覧室開室日数(日)	無料区域部分		エントランスホールのみ	エントランス総入館者数(b)	計(a+b)	累計						
		展示室				閲覧室											
		共通券	単独券			閲覧室											
4	17	8,348	9	8,357	25	560	1,712	2,272	10,629	10,629							
5	27	15,259	12	15,271	27	437	1,372	1,809	17,080	27,709							
6	22	11,118	17	11,135	26	379	1,381	1,760	12,895	40,604							
7	22	11,482	8	11,490	26	359	1,198	1,557	13,047	53,651							
8	28	12,854	0	12,854	28	306	934	1,240	14,094	67,745							
9	21	11,837	0	11,837	25	385	1,028	1,413	13,250	80,995							
10	27	22,344	0	22,344	27	565	1,673	2,238	24,582	105,577							
11	23	20,592	20	20,612	26	676	2,479	3,155	23,767	129,344							
12	13	7,131	7	7,138	13	317	871	1,188	8,326	137,670							
1	20	7,890	19	7,909	24	486	1,252	1,738	9,647	147,317							
2	24	12,894	10	12,904	24	437	1,161	1,598	14,502	161,819							
3	26	17,824	26	17,850	26	566	1,824	2,390	20,240	182,059							
計	270	159,573	128	159,701	297	5,473	16,885	22,358	182,059								

※特別整理休館 12月16日～28日

### (3) 秀吉清正記念館

(単位:人)

月	開館日数(日)	入場者数	累 計	備 考
4	24	2,067	2,067	
5	26	2,254	4,321	
6	25	2,202	6,523	
7	25	2,496	9,019	
8	26	3,112	12,131	
9	25	2,223	14,354	
10	26	4,185	18,539	特別陳列-16日 (入場者1,722人)
11	22	4,586	23,125	特別陳列-15日 (入場者2,002人)
12	16	1,579	24,704	
1	23	2,405	27,109	
2	24	3,030	30,139	
3	25	2,057	32,196	
計	287	32,196		

## 4 ギャラリー・講堂利用日数

(単位:日)

室名／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ギャラリー	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	屋外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
講堂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
開室日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※令和5年10月1日より、リニューアル改修に伴い休館中。

## 5 年度別入場者数

(単位:人)

年度 (昭和)	常設展	資料 学習室	ふれてみる 学習室	部門展	特別展 企画展	共催展	ギャラリー	講 堂					計	累計
52				184,694	17,099	203,569	48,302	4,195					457,859	
53	85,044			34,077	17,642	103,848	332,031	10,881					583,523	1,041,382
54	104,009			40,013	10,514	184,316	307,735	22,609					669,196	1,710,578
55	130,562	38,702		28,301	8,788	177,337	276,578	25,782					686,050	2,396,628
56	73,655	29,284	6,748	14,237	9,106	66,104	273,704	25,421					498,259	2,894,887
57	105,109	47,214	45,188	21,677	9,806	132,369	281,767	22,247					665,377	3,560,264
58	94,941	36,437	35,079	32,026	9,063	121,480	297,097	22,021					648,144	4,208,408
59	86,112	25,419	23,778	16,515	11,986	96,428	394,204	21,852					676,294	4,884,702
60	85,781	41,651	41,935	25,873	9,968	117,928	649,486	22,278					994,900	5,879,602
61	93,251	37,345	38,390	22,224	19,079	149,416	489,186	21,802					870,693	6,750,295
62	101,447	36,485	36,683	16,823	4,597	182,725	388,101	22,372					789,233	7,539,528
63	17,421	16,919	19,322	22,639	8,736	39,544	336,466	20,443					481,490	8,021,018
年度 (平成)	常設展	ビデオ ミュージアム	ふれてみる 学習室	収蔵品展等	特別展 企画展	共催展	ギャラリー	講 堂	展示 説明室	体験 学習室	ナイトミュー ジアム	歴史体験 セミナー	計	累計
元	82,336	24,774	22,128	7,687	17,657	161,125	359,028	20,162					694,897	8,715,915
2	69,993	24,795	16,218	4,587	16,561	86,570	340,936	19,230					578,890	9,294,805
3	84,465	31,351	20,711	7,883	40,027	168,556	362,912	23,684					739,589	10,034,394
4	60,601	29,091	19,500	7,399	21,249	86,728	322,388	20,745					567,701	10,602,095
5	72,949	28,573	19,460	10,366	20,165	102,159	363,434	22,956					640,062	11,242,157
6	145,272	46,024	32,257	7,595	22,635	349,128	380,446	25,455					1,008,812	12,250,969
7	83,387	31,717	18,968	0	47,829	160,360	346,948	25,544					714,753	12,965,722
8	95,118	30,912	19,504	11,014	20,539	178,565	416,896	17,552					790,100	13,755,822
9	122,665	36,084	20,061	9,045	16,027	298,052	404,502	24,897					931,333	14,687,155
10	70,970	23,553	11,393	5,433	21,127	164,503	337,974	20,380					655,333	15,342,488
11	52,972	19,836	11,612	5,520	24,470	74,815	315,838	18,734					523,797	15,866,285
12	150,760	32,849	23,405	9,365	18,827	308,229	324,538	18,651					886,624	16,752,909
13	66,376	17,491	8,581	13,592	9,260	134,976	309,714	16,267					576,257	17,329,166
14	56,137	15,185	7,038	32,608	14,874	74,848	283,883	17,713					502,286	17,831,452
15	56,609	12,661	5,928	35,332	16,539	58,023	281,581	12,185					478,858	18,310,310
16	61,536	13,478	11,680	3,883	15,104	119,227	213,778	9,509					448,195	18,758,505
17	82,856	14,285	15,083	5,703	43,756	159,078	239,336	8,484					568,581	19,327,086
18	40,746	11,631	11,526	5,309	38,370	39,189	209,861	6,639					363,271	19,690,357
19	98,783	10,475	13,083	0	11,871	153,825	244,570	5,869					538,476	20,228,833
20	68,419	9,397	11,943	16,403	9,362	87,638	235,367	6,132	3,492				448,153	20,676,986
21	90,214	8,432	12,978	0	16,515	124,384	221,495	8,162	1,233				483,413	21,160,399
22	70,825	6,774	7,983	49,367	7,361	141,400	220,437	7,990	1,289				513,426	21,673,825
23	68,383	4,318	7,669	0	0	111,551	177,111	6,481	2,620	22,251			400,384	22,074,209
24	63,990	6,358	7,099	0	9,640	288,131	167,310	11,222	2,384	21,536	1,786	9,558	589,014	22,663,223
25	68,916	8,596	13,504	0	2,970	132,235	187,082	8,543	2,447	17,953	1,700	12,156	456,102	23,119,325
26	65,515	5,749	14,329	0	3,818	130,075	164,412	5,920	6,229	22,835	943	6,693	426,518	23,545,843
27	69,076	3,207	14,428	4,576	19,025	123,741	158,886	7,511	2,049	22,251	1,256	11,544	437,550	23,983,393
28	70,294	6,905	14,742	0	8,142	139,512	170,943	7,841	6,639	22,455	1,372	6,405	455,250	24,438,643
29	81,784	4,202	13,150	0	0	238,137	170,290	6,230	2,550	23,184	561	7,887	547,975	24,986,618
30	58,372	3,192	10,166	0	4,752	105,671	162,903	6,087	2,074	21,927	851	2,643	378,638	25,365,256
年度 (令和)	常設展	ビデオ ミュージアム	ふれてみる 学習室	収蔵品展等	特別展 企画展	共催展	ギャラリー	講 堂	展示 説明室	体験 学習室	ナイトミュー ジアム	歴史体験 セミナー	計	累計
元	63,587	2,742	10,838	0	18,952	218,977	134,681	6,172	3,404	21,136	715	7,568	488,772	25,854,028
2	16,421	2,077	6,321	0	14,411	11,721	56,776	861	406	8,786	0	803	118,583	25,972,611
3	35,398	2,051	10,042	0	0	100,031	88,699	1,680	790	2,268	0	10,016	250,975	26,223,586
4	66,715	2,860	13,754	0	4,331	129,091	104,267	2,567	1,177	1,814	0	5,347	331,923	26,555,509
5	42,116	2,715	10,129	0	0	73,998	811	802	775	0	0	15,352	146,698	26,702,207
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,702,207
計	3,531,888	843,796	734,334	711,766	692,550	6,609,313	12,554,690	670,760	39,558	208,396	9,184	95,972	26,702,207	

※「ふれてみる学習室」は、平成16年度から「触れてみるコーナー」、「ビデオミュージアム」は平成22年度から「ビデオコーナー」。

※「収蔵品展等」の欄は、平成元年度から22年度については収蔵品展の、27年度については「東日本大震災復興と名古屋」展の入場者数。

※令和5年10月1日より、リニューアル改修に伴い休館中。

# 出版物案内

(令和7年3月31日現在)

出版物名	刊行年	販売価格
博物館資料叢書3 猿猴庵の本		
(第2回配本) 画誌卯之花笠	2001年	1,200円
(第3回配本) 新卑姑射文庫	2002年	1,200円
(第4回配本) 絵本清洲川・繞梵天錦	2002年	1,200円
(第5回配本) 新卑姑射文庫 二編	2002年	1,200円
(第6回配本) 新卑姑射文庫 三編	2003年	1,200円
(第7回配本) 北斎大画即書細図・女謡曲採要集	2004年	1,200円
(第8回配本) 御鍬祭真景図略 一	2004年	1,200円
(第9回配本) 御鍬祭真景図略 二	2005年	1,200円
(第10回配本) 笠寺出現宝塔絵詞伝	2005年	1,200円
(第11回配本) 東街便覧図略 卷二	2005年	1,200円
(第12回配本) 御船御行列之図・桜見与春之日置・絵本江崎之春	2006年	1,200円
(第13回配本) 泉涌寺靈宝拝見図・嵯峨靈仏開帳志	2006年	1,200円
(第14回配本) 絵本駱駝具誌	2007年	1,200円
(第15回配本) 御鍬祭真景図略 三	2008年	1,200円
(第16回配本) 萱津道場參詣記	2008年	1,200円
(第17回配本) 東街便覧図略 卷三	2010年	1,200円
(第18回配本) 絵本音聞山	2011年	1,200円
(第19回配本) 絵本上雲雀	2012年	1,200円
(第20回配本) 東街便覧図略 卷四	2014年	1,200円
(第21回配本) 張州勝藍開帳集	2015年	1,200円
(第22回配本) 東街便覧図略 卷五	2016年	1,200円
(第23回配本) 東街便覧図略 卷六	2017年	1,200円
(第24回配本) 東街便覧図略 卷七	2018年	1,200円
(第25回配本) 東街便覧図略 卷一(改訂版)	2019年	1,200円
(第26回配本) 安永洪水図	2020年	1,200円
(第27回配本) 画本開帳談話	2021年	1,200円
(第28回配本) 風流甚目寺參詣の記・高田山開帳參案内図会	2022年	1,200円
(第29回配本) 猿猴庵日記 天明四年	2023年	1,200円
(第30回配本) 猿猴庵日記 天明五年	2024年	1,200円
展覧会図録等		
【常設展】「尾張の歴史」ガイドブック	2003年	700円
『特別展』柳宗悦 生誕百年記念	1988年	800円
『特別展』日本の物語絵	1988年	800円
『特別展』日本の美と匠	1992年	1,000円
『特別展』東海百觀音名宝展	1993年	1,200円
(企画展) れきしどうぶつえん	1995年	300円
『特別展』新博物館態勢	1995年	500円
『特別展』ウィーンの歴史と芸術	1997年	2,300円
『特別展』妙法院と三十三間堂	1999年	1,000円
(企画展) 中林竹溪	1999年	500円
(企画展) おもしろやきもの展 ハンドブック	2000年	400円
『特別展』北の民 アイヌの世界	2000年	1,000円
(企画展) 無病息災 ー病を克服する知恵と祈りー	2001年	700円
『特別展』19世紀ウィーンへの旅	2003年	2,500円

出版物名	刊行年	販売価格
(企画展) 富士見の里 昔の前津 一江戸から昭和一	2006年	800円
『特別展』からくり 一見る、作る、遊ぶ一	2007年	600円
(企画展) 小栗鉄次郎 一戦火から国宝を守った男一	2009年	700円
『特別展』妙心寺 一禪の心と美一	2009年	2,000円
『特別展』名古屋400年のあゆみ	2010年	1,500円
『特別展』変革のとき 桃山	2010年	2,200円
『特別展』古代メキシコ オルメカ文明展	2011年	2,000円
『特別展』狂言でござる	2011年	1,300円
『特別展』芭蕉一広がる世界、深まる心一	2012年	2,000円
『特別展』驚きの博物館コレクション	2013年	1,000円
『特別展』マジックの時間 公式ガイドブック	2013年	500円
『特別展』三英傑と名古屋	2014年	1,200円
『特別展』感じる縄文時代	2014年	600円
『特別展』いつだつて猫展(初版)	2015年	2,200円
『特別展』名古屋めしのもと	2015年	1,500円
(企画展) 採録 名古屋の衣生活	2017年	1,000円
『特別展』北斎だるせん!	2017年	2,200円
『特別展』画僧 月僊	2018年	2,000円
(企画展) 書で集う	2019年	900円
台風記 (「治水・震災・伊勢湾台風」作文集)	2019年	1,800円
(地域展)尾張の城と城下町 三英傑の城づくり・町づくり 展示ガイドブック	2019年	1,000円
『特別展』模様を着る	2020年	2,300円
(企画展) なごやのうつりかわり	2021年	500円
『特別展』大雅と蕪村	2021年	2,500円
(企画展)『本校ヨリノ通知綴』抄・『B29空襲日誌』(「戦前を生きる」資料集)	2023年	500円
『特別展』The 名古屋市博物館	2023年	1,500円

#### 資料図版目録・館蔵品目録

館蔵品図録I	1982年	1,000円
館蔵品図録II	1987年	1,000円
館蔵品百選	1997年	1,000円
館蔵品目録 第2分冊	1997年	1,200円
館蔵品目録 第4分冊	2000年	800円
資料図版目録3 「尾張の俳諧」	2002年	900円
資料図版目録4 「くらしのうつりかわり」	2003年	600円
資料図版目録5 「愛知の縄文遺跡」	2004年	1,000円
資料図版目録6 「尾崎久弥浮世絵コレクション 歌川国貞」	2005年	900円
資料図版目録7 「大和古瓦図版目録」	2006年	700円
資料図版目録9 「尾張のやきもの」	2013年	700円
資料図版目録10 「横井庄一生活資料」	2015年	700円
資料図版目録11 「絞り染めコレクション 有松・鳴海絞りと日本の絞り」	2025年	1,100円

#### 調査研究報告・博物館資料叢書

博物館資料叢書1 三寶繪	1989年	3,000円
調査研究報告III 明治期博覧会出品七宝工総覧	1996年	500円
調査研究報告V 宝玉七宝	2000年	800円

#### 研究紀要

名古屋市博物館研究紀要 第16巻	1993年	300円
名古屋市博物館研究紀要 第17巻	1994年	300円

出版物名	刊行年	販売価格
名古屋市博物館研究紀要 第21巻	1998年	300円
名古屋市博物館研究紀要 第22巻	1999年	300円
名古屋市博物館研究紀要 第24巻	2001年	900円
名古屋市博物館研究紀要 第25巻	2002年	700円
名古屋市博物館研究紀要 第26巻	2003年	700円
名古屋市博物館研究紀要 第27巻	2004年	600円
名古屋市博物館研究紀要 第28巻	2005年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第29巻	2006年	700円
名古屋市博物館研究紀要 第30巻	2007年	900円
名古屋市博物館研究紀要 第31巻	2008年	700円
名古屋市博物館研究紀要 第32巻	2009年	600円
名古屋市博物館研究紀要 第33巻	2010年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第34巻	2011年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第35巻	2012年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第37巻	2014年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第38巻	2015年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第39巻	2016年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第40巻	2017年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第41巻	2018年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第42巻	2019年	700円
名古屋市博物館研究紀要 第43巻	2020年	700円
名古屋市博物館研究紀要 第44巻	2021年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第45巻	2022年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第46巻	2023年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第47巻	2024年	500円
名古屋市博物館研究紀要 第48巻	2025年	700円

名古屋市博物館 年報 №. 48

(令和 6 年度)

発行日 令和 7 年 (2025) 6 月 1 日

編 集 名古屋市博物館

発 行 名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1

TEL 052 (853) 2655

FAX 052 (853) 3636